

一般社団法人日本育種学会 第144回講演会プログラム  
2023年秋季 神戸大学

		受付 8:30開始(神戸大学 工学研究科 LR棟 1F)																								
		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場																			
	午前	LR501	LR401	LR402	LR301	LR302	LR201																			
		ゲノム解析・ゲノム育種 101-110 9:00-11:30	ゲノム解析・ゲノム育種 201-212 9:00-12:00	発生・生理 301-312 9:00-12:00	遺伝子機能 401-412 9:00-12:00	抵抗性・耐性 501-512 9:00-12:00	育種法・育種技術 601-612 9:00-12:00																			
9月16日 (土)	午後	○ 株式会社ジーンベイ ランチョンセミナー 12:15-13:05 (会場:第1会場 LR501) 「GRAS-Di解析の概要とデータ活用方法のご紹介」 講演演者:鈴木一代(トヨタ自動車株式会社アグリバイオ事業部) 講演演者:上村泰央(株式会社ジーンベイ)																								
		第64回シンポジウム (シンポジウム・ワークショップ) 13:30-17:45																								
		○ シンポジウム 13:30-17:45 第1会場 LR501																								
		S01 ゲノム編集技術の現状と植物育種への応用				主任: 吉田 均																				
		○ ワークショップ 13:30-17:45																								
		W01 DAC 農業の実現にむけた作物改良と評価				主任: 矢野昌裕・米丸淳一																				
		W02 植物オルガネラゲノム育種の可能性				主任: 風間智彦・竹中瑞樹																				
		W03 病原菌”と”宿主”, “植物病理学”と”育種学”, 相互作用が生み出す新しい抵抗性育種				主任: 清水元樹・松尾宏樹																				
		W04 若手研究者による農学的興味を広げ合い第3 回~これからの農学とは~ 主任: 梨木聡人・山森晃一・古村翔也・工藤 葵・栗田恵理子・竹内亜美・清水浩晶・小川泰生・岡田萌子																								
		W05 アブラナ科作物の遺伝・育種学の未来像を描く				主任: 肥塚 信也・高木宏樹																				
		W06 コロナ・ポストコロナ期の海外留学・在外研究最新事情				主任: 角井宏行・南川 舞・岡田萌子・佐久間俊																				
		<p style="text-align: center;">&lt; ワークショップ タイムテーブル &gt;</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時 間</th> <th>会 場</th> <th>第2会場</th> <th>第4会場</th> <th>第6会場</th> </tr> <tr> <th></th> <th>LR401</th> <th>LR301</th> <th>LR201</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13:30-15:30</td> <td></td> <td>W02</td> <td>W05</td> <td>W04</td> </tr> <tr> <td>15:45-17:45</td> <td></td> <td>W01</td> <td>W03</td> <td>W06</td> </tr> </tbody> </table>						時 間	会 場	第2会場	第4会場	第6会場		LR401	LR301	LR201	13:30-15:30		W02	W05	W04	15:45-17:45		W01	W03	W06
時 間	会 場	第2会場	第4会場	第6会場																						
		LR401	LR301	LR201																						
13:30-15:30		W02	W05	W04																						
15:45-17:45		W01	W03	W06																						
		懇親会 18:30-20:30 (神戸大学 生協BEL BOX)																								
9月17日 (日)	午前	受付 8:30開始(神戸大学 工学研究科 LR棟 1F)																								
		ポスター発表 9:00-11:00(神戸大学 百年記念館) 奇数番号 9:00-10:00 偶数番号 10:00-11:00																								
	午後	○ 男女共同参画推進委員会 特別企画 ランチョンセミナー 11:50-12:50 (会場:第1会場 LR501) 後援:男女共同参画学協会連絡会 テーマ: 「米国での妊娠、出産、育児や大学での支援体制について」 話題提供者:深尾 武司(福井県立大学 生物資源学部)																								
		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場																			
		LR501	LR401	LR402	LR301	LR302	LR201																			
		ゲノム解析・ゲノム育種 113-124 13:15-16:15	収量・品質 213-224 13:15-16:15	発生・生理 313-316 13:15-14:15 オミクス・データベース 317-324 14:15-16:15	遺伝子機能 413-424 13:15-16:15	増殖・生殖 513-524 13:15-16:15	品種育成・遺伝資源 613-624 13:15-16:15																			
9月18日 (月・祝)	午後	市民公開シンポジウム 13:00-16:30 (神戸大学 出光佐三記念六甲台講堂)																								

9月16日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 古田 智敬 (岡山大)	◆座長 高梨 秀樹 (東京大)	◆座長 妻鹿 亮亮 (山口大)
9:00	101 イネコアコレクションにおける葉身トライコーム密度のゲノムワイド関連解析 橋本 亜美 <sup>1</sup> , 伊藤 純一 <sup>2</sup> , 〇吉川 貴徳 <sup>1,3</sup> (1. 京大院農, 2. 東大院農生命科学, 3. 国立遺伝学研究所)	201 ガーデンピートにおける劣性 <i>rfl1</i> 対立遺伝子の出現頻度 ☆谷口 英吾 <sup>1</sup> , 早川 諒 <sup>1</sup> , 鹿保 陽平 <sup>1</sup> , 田中 瑠人 <sup>1</sup> , 松平 洋明 <sup>2</sup> , 黒田 洋輔 <sup>2</sup> , 北崎一義 <sup>1</sup> , 久保友彦 <sup>1</sup> (1. 北大院・農, 2. 農研機構・北海道農業研究センター)	301 高濃度糖処理によるニンジン子葉由来不定胚誘導の効率化の検討 ☆久保田 礼花 <sup>1</sup> , 高原 美規 <sup>2</sup> (1. 長岡技大・院物質生物, 2. 長岡技大・物質生物系)
9:15	102 フォトグラメトリとGWASを用いたトウジンビエの「穂の形」に関わる遺伝子の探索 ☆神原 昂太 <sup>1</sup> , SK Gupta <sup>2</sup> , 高野 哲夫 <sup>1</sup> , 津釜 大侑 <sup>1</sup> (1. 東大院・農学生命科学, 2. 国際半乾燥熱帯作物研究所)	202 ソルガム F <sub>1</sub> 品種の純系化育種: 優性アレル集積系統の高バイオマス高糖性育種 ☆菊池 樹 <sup>1</sup> , 岡田 聡史 <sup>2</sup> , 中村 (荒木) 聡子 <sup>2</sup> , 篠原 (大前) 梢 <sup>2</sup> , 荻野 千秋 <sup>3</sup> , 春日 重光 <sup>4</sup> , 佐塚 隆志 <sup>2</sup> (1. 名大・院生命科学, 2. 名大・生物セ, 3. 神戸大・院工学, 4. 信大・農)	302 イネの茎頂メリステムにおけるホルマウント免疫染色系の開発 ☆森下 友梨香 <sup>1</sup> , 高田 峻輔 <sup>2</sup> , 吉田 綾 <sup>2</sup> , 肥後 あすか <sup>2</sup> , 辻 寛之 <sup>2,3</sup> (1. 名古屋大・農学, 2. 横浜市大・木原生物学研究所, 3. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)
9:30	103 タバコ高品質リゾレンスゲノムの構築と低ニコチン性に関わる自然変異同定への応用 〇宇田川 久史 <sup>1</sup> , 竹内 貴規 <sup>1</sup> , 真龍 洋 <sup>1</sup> , 新井 雅雄 <sup>1</sup> , 小峠 雄輝 <sup>1</sup> , 小松 知之 <sup>1</sup> , 佐藤 正紀 <sup>1</sup> , 岩田 洋佳 <sup>2</sup> , 高倉 由光 <sup>1</sup> (1. 日本たばこ産業(株) 葉たばこ研究所, 2. 東京大学大学院農学生命科学研究科)	203 ジンターゲティングによるイネ HSL1 のアミノ酸改変は新たな除草剤抵抗性遺伝子を創出する 〇廣瀬 咲子 <sup>1</sup> , 横井 彩子 <sup>1</sup> , 戸澤 謙 <sup>2</sup> , 大島 正弘 <sup>1</sup> , 吉田 均 <sup>1</sup> (1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 埼玉大学・理工学研究科・生命科学部門)	303 低酸素条件下で発芽するイネ ( <i>Oryza sativa</i> L.) が子葉鞘を伸長させるときに受ける炭水化物の影響 ☆平野 羽留, 福田 味住, 深尾 武司 (福井県立大学・院生物資源学)
9:45	104 Heat stress reduces the betalain content of <i>Amaranthus tricolor</i> 〇 Ya-Ping Lin <sup>1</sup> , Akito Nashiki <sup>2</sup> , Hina Okubo <sup>2</sup> , Yosuke Yoshioka <sup>2</sup> , Sachiko Isobe <sup>3</sup> , Kenta Shirasawa <sup>3</sup> , Ken Hoshikawa <sup>1,4</sup> (1. World Vegetable Center, Taiwan, 2. Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, 3. Kazusa DNA Research Institute, 4. Biological Resources and Post-harvest Division, Japan International Research Center for Agricultural Sciences)	204 イネ品種カサラスの非脱粒性に関与する3つの新規遺伝子座の推定と効果検証 ☆山口 雄大, 塩成 尚己, 高岡 業摘, 岡 佑美, 竹中 祥亮, Htun Than Myint, 井上千鶴, 沼口 孝司, 石井 尊生, 石川 亮 (神戸大・院・農学)	304 セイヨウナタネにおける耐塩性と ABA による発芽遅延との関連性 ☆朱 星宇, 田 麥楠, 山本 雅也, 北柴 大泰 (東北大・院農)
	◆座長 吉川 貴徳 (遺伝研)	◆座長 大西 一光 (帯広畜産大)	◆座長 塩野 克宏 (福井県大)
10:00	105 Armchair Detective に分子遺伝学は可能か? 〇松岡 信 <sup>1</sup> , 菅波 真央 <sup>1</sup> , 小島 創一 <sup>2</sup> , Wang Fanmiao <sup>3</sup> , 吉田 英樹 <sup>1</sup> , 渡辺 正夫 <sup>4</sup> , 松田 幹 <sup>1</sup> , 山本 英司 <sup>5</sup> (1. 福島大学食農学類附属発酵醸造研究所, 2. 東北大学大学院農学研究所, 3. 農研機構, 4. 東北大学大学院生命科学研究所, 5. 明治大学大学院農学研究所)	205 データ解析によるコシヒカリの頑健・晩生同質遺伝子系統に最適な生育地域の推察 〇富田 因則 <sup>1</sup> , 本田 大士 <sup>2</sup> (1. 静岡大・グリーン研, 2. 本田バイオ技術研究所)	305 イネの側根原基に見られる可塑的な発生機構の解析 ☆楠田 聖也 <sup>1</sup> , 赤星 良輔 <sup>1</sup> , 河合 翼 <sup>2</sup> , 井成 (池田) 真由子 <sup>3</sup> , 犬飼 義明 <sup>4</sup> (1. 名大・院生命科学, 2. 農研機構・作物研究部門, 3. 東海学園大・健康栄養, 4. 名大・農学国際教育研究センター)
10:15	106 レガシーデータを活用したダイズの開花期を制御する遺伝子座の探索 ☆菅波 真央 <sup>1</sup> , 高橋 秀和 <sup>1,2</sup> , 二瓶 直登 <sup>1,2</sup> , 吉田 英樹 <sup>1</sup> , 小島 創一 <sup>3</sup> , 佐藤 郁恵 <sup>4</sup> , 山本 英司 <sup>5</sup> , 吉田 晋弥 <sup>1</sup> , 渡辺 正夫 <sup>6</sup> , 松田 幹 <sup>1,2</sup> , 松岡 信 <sup>1</sup> (1. 福島大学食農学類附属発酵醸造研究所, 2. 福島大学食農学類, 3. 東北大学大学院農学研究所, 4. 福島県農業総合センター, 5. 明治大学大学院農学研究所, 6. 東北大学大学院生命科学研究所)	206 国内で育成されたカンキツ品種の簡易・迅速品種識別システムの開発 〇岡本 充智 <sup>1</sup> , 門田 有希 <sup>2</sup> , 進藤 彰子 <sup>2</sup> , 竹内 朋幸 <sup>3</sup> , 遠藤 朋子 <sup>4</sup> , 重松 幸典 <sup>5</sup> , 高崎 一人 <sup>3</sup> , 藤井 浩 <sup>6</sup> , 島田 武彦 <sup>4</sup> (1. 愛媛県農林水産研究所・農業研究部, 2. 岡山大・院環境生命科学, 3. 株式会社ファスマック, 4. 農研機構・果樹茶業研究部門, 5. 愛媛県農林水産研究所・みかん研究所, 6. 静岡大学農学部)	306 根の発生に関与するストリゴラクトン生合成経路の解析 ☆森下 紘光 <sup>1</sup> , 角 くるみ <sup>1</sup> , 杉田 亮平 <sup>2</sup> , 鈴木 孝征 <sup>3</sup> , 米山 香織 <sup>4</sup> , 山内 卓樹 <sup>5</sup> (1. 名大・院生命科学, 2. 名大・アイソトープ, 3. 中部大・院応用生物, 4. 埼玉大・研究機構, 5. 名大・生物センター)
10:30	107 福井県の水稲育種家は出穂関連遺伝子をどのように利用してきたか? 〇小林 麻子 <sup>1</sup> , 菅波 真央 <sup>2</sup> , 吉田 英樹 <sup>2</sup> , 渡辺 健斗 <sup>1</sup> , 町田 芳恵 <sup>1</sup> , 茶谷 弦輝 <sup>1</sup> , 中岡 史裕 <sup>1</sup> , 森中 洋一 <sup>3</sup> , 三浦 孝太郎 <sup>3</sup> , 佐藤 信仁 <sup>1</sup> , 松岡 信 <sup>2</sup> (1. 福井農試, 2. 福島大学, 3. 福井県立大学)	207 赤材桑×国桑 21 号の F2 集団を用いたクワ連鎖地図とゲノム配列の比較解析 ☆鈴木 未来 <sup>1</sup> , 小山 朋夫 <sup>2</sup> , 植本 満希 <sup>1</sup> , 梶田 真也 <sup>2</sup> , 松村 英生 <sup>1</sup> (1. 信州大・院総合理工学, 2. 東京農工大)	307 OsWOX10 遺伝子の制御に注目したイネ <i>our1</i> 変異による側根発育促進機構の解析 ☆ Yihao Dong <sup>1</sup> , Cornelius Wainaina <sup>2</sup> , 犬飼 義明 <sup>3</sup> (1. 名大・院生命科学, 2. ジョモケニヤッタ農工大・園芸および食料安全保障, 3. 名大・農学国際教育研究センター)
10:45	108 ◆座長 北崎一義 (北海道大) アジアイネゲノムとの網羅的オノログ解析に基づくアフリカイネゲノムの特徴づけ ☆古田 智敬 <sup>1</sup> , 佐藤 豊 <sup>2</sup> , 吉村 淳 <sup>3</sup> , 芦 基行 <sup>4</sup> (1. 岡大・資源植物科学研究所, 2. 遺伝研, 3. 九大・農学研究院, 4. 名大・生物機能開発利用研究センター)	208 ブロコリー花蕾のアントシアニンレス形質を選抜する DNA マーカーの開発 ☆足立 拓海 <sup>1</sup> , 岡本 春菜 <sup>2</sup> , 白戸 陽子 <sup>2</sup> , 殿崎 薫 <sup>3</sup> , 清水 元樹 <sup>4</sup> , 畠山 勝徳 <sup>1</sup> (1. 岩手大・農, 2. (株) 日本農林社, 3. 横浜市立大・木原生研, 4. 岩手生工研)	308 イネにおける節・節間パターン形成機構 II 〇津田 勝利 <sup>1,2</sup> , 前野 哲輝 <sup>1</sup> , 松原 健一郎 <sup>3</sup> , 田中 若奈 <sup>4</sup> , 野々村 賢一 <sup>1,2</sup> (1. 国立遺伝学研究所, 2. 総合研究大学院大学, 3. 吉備国際大学, 4. 広島大学)
11:00	109 異質倍数性バイレシヨのゲノム構造と遺伝子発現解析 〇保坂 碧 <sup>1,2</sup> , 實友 玲奈 <sup>3</sup> , 保坂 和良 <sup>3</sup> (1. 日本バイオデータ, 2. 横浜市立大・木原生物学研究所, 3. 帯広畜産大・バイレシヨ遺伝資源開発学研究室)	209 ◆座長 渡邊 啓史 (佐賀大) PCR ベースのジェノタイプングに有用な全ゲノム網羅的 DNA マーカー設計ツール "ngs-mkdesigner" ☆千袋 公樹, 磐佐 まりな, 本田 泰太郎, 安達 俊輔, 大川 泰一郎 (東京農工大学農学府)	309 ◆座長 佐久間 俊 (鳥取大) コールラビ ( <i>Brassica oleracea</i> var. <i>gongyloides</i> L.) の茎肥大に関与する責任遺伝子のファインマッピングと同定 ☆ Md Nuruzzaman <sup>1</sup> , 佐藤 庄人 <sup>1</sup> , 清水 元樹 <sup>2</sup> , 深井 英吾 <sup>1</sup> , 岡崎 桂一 <sup>1</sup> (1. 新潟大・院自然科学, 2. 岩手生物工学研究セ)
11:15	110 ロングリード技術を利用したトマト品種「マイクロトム」のゲノム解読 〇白澤 健太 <sup>1</sup> , 有泉 亨 <sup>2</sup> (1. かずさ DNA 研, 2. 筑波大)	210 メロンにおけるワタアブラムシ抵抗性遺伝子座周辺配列の比較解析および選抜マーカーの開発 ☆十河 奈々 <sup>1</sup> , 大熊 眞歩 <sup>1</sup> , Odairichi Nnennaya IMOHI, 長井 朋美 <sup>1</sup> , 嶋田 玄太郎 <sup>2,7</sup> , 田中 典克 <sup>3</sup> , 西村 和紗 <sup>4</sup> , 清古 貴 <sup>5</sup> , 武藤 千秋 <sup>5</sup> , 内藤 健 <sup>5</sup> , 門田 有希 <sup>4</sup> , 杉山 充啓 <sup>6</sup> , 西田 英隆 <sup>4</sup> , 川頭 洋一 <sup>6</sup> , 友岡 憲彦 <sup>5</sup> , 加藤 鎌司 <sup>4</sup> (1. 岡山大・院環境生命, 2. ミュンヘン工科大, 3. 弘前大・農生命, 4. 岡山大・院環境生命自然, 5. 農研機構・資源研, 6. 農研機構・野菜花き研究部門, 7. 筑波大・生命環境)	310 パンコムギガマ線照射集団由来の早生系統の原因遺伝子領域の同定 ☆古村 翔也 <sup>1</sup> , 小林 史典 <sup>2</sup> , 大野 陽子 <sup>2</sup> , 半田 裕一 <sup>3</sup> , 吉田 健太郎 <sup>1</sup> (1. 京大・院農, 2. 農研機構・作物研, 3. 京都府大・院生命環境)
11:30	1130 六倍体サツマイモにおける multiple-dose マーカーを利用した高密度連鎖地図の構築及び線虫抵抗性に関する random-effect multiple QTL mapping ☆栗原 未結 <sup>1</sup> , 田淵 宏朗 <sup>2</sup> , 加藤 鎌司 <sup>3</sup> , 西田 英隆 <sup>3</sup> , 門田 有希 <sup>3</sup> (1. 岡山大・院環境生命, 2. 農研機構・九沖研, 3. 岡山大・院環境生命自然)	211 六倍体サツマイモにおける multiple-dose マーカーを利用した高密度連鎖地図の構築及び線虫抵抗性に関する random-effect multiple QTL mapping ☆栗原 未結 <sup>1</sup> , 田淵 宏朗 <sup>2</sup> , 加藤 鎌司 <sup>3</sup> , 西田 英隆 <sup>3</sup> , 門田 有希 <sup>3</sup> (1. 岡山大・院環境生命, 2. 農研機構・九沖研, 3. 岡山大・院環境生命自然)	311 野生エンマームコムギ系統群から見出された特異的早生系統 KU-195 の開花関連 QTL ☆張 芸瑄 <sup>1</sup> , 西村 和紗 <sup>2</sup> , 角坂 麻衣 <sup>3</sup> , 陳 甜甜 <sup>1</sup> , 岩橋 優 <sup>1</sup> , 元木 航 <sup>2</sup> , 長坂 京香 <sup>1</sup> , 村田 和樹 <sup>1</sup> , 牧 隆宏 <sup>1</sup> , 木下 有羽 <sup>1</sup> , 中野 龍平 <sup>1</sup> , 井上 博茂 <sup>1</sup> , 川浦 香奈子 <sup>3</sup> , 森 直樹 <sup>4</sup> , 中崎 鉄也 <sup>1</sup> (1. 京都大・院農, 2. 岡山大・院環境生命自然, 3. 横浜市立大・木原生研, 4. 神戸大・院農)
11:45	1145 212 <i>Eustoma exaltatum</i> 自殖系統大川 1 号由来のトルコギキョウ立枯病 ( <i>Fusarium oxysporum</i> ) 抵抗性を識別する DNA マーカー 〇川勝 恭子 <sup>1</sup> , 安永 智希 <sup>2</sup> , 佐藤 衛 <sup>1</sup> , 川部 眞登 <sup>1</sup> , 川勝 泰二 <sup>3</sup> , 佐藤 憲二郎 <sup>4</sup> , 藤 結宇 <sup>4</sup> , 入谷 明里 <sup>5</sup> , 鈴木 幹彦 <sup>5</sup> (1. 農研機構・野菜花き部門, 2. 福岡県農林業総合試験場, 3. 農研機構・生物機能利用部門, 4. 長野県野菜花き試験場, 5. 静岡県農林技術研究所)	212 <i>Eustoma exaltatum</i> 自殖系統大川 1 号由来のトルコギキョウ立枯病 ( <i>Fusarium oxysporum</i> ) 抵抗性を識別する DNA マーカー 〇川勝 恭子 <sup>1</sup> , 安永 智希 <sup>2</sup> , 佐藤 衛 <sup>1</sup> , 川部 眞登 <sup>1</sup> , 川勝 泰二 <sup>3</sup> , 佐藤 憲二郎 <sup>4</sup> , 藤 結宇 <sup>4</sup> , 入谷 明里 <sup>5</sup> , 鈴木 幹彦 <sup>5</sup> (1. 農研機構・野菜花き部門, 2. 福岡県農林業総合試験場, 3. 農研機構・生物機能利用部門, 4. 長野県野菜花き試験場, 5. 静岡県農林技術研究所)	312 胚珠におけるジャスモン酸の時空間的動態によるトマト着果制御機構の解明 ☆野村 悠華子 <sup>1</sup> , 陸 宇 <sup>2</sup> , 榎 廣文 <sup>3</sup> , 原田 圭一郎 <sup>1</sup> , 篠崎 良仁 <sup>2</sup> , 矢野 亮一 <sup>4</sup> , 小嶋 美紀子 <sup>5</sup> , 竹林 裕美 <sup>5</sup> , 榎原 均 <sup>6</sup> , 江面 浩 <sup>2,7</sup> , 有泉 亨 <sup>2,7</sup> (1. 筑波大院・生命地球科学, 2. 筑波大・生命環境, 3. 帝京大・理工, 4. 農研機構・分析研, 5. 理研・CSRS, 6. 名大院・生命農, 7. 筑波大・T-PIRC)

第4会場		第5会場		第6会場		9月16日
◆座長 三村 真生 (東京大)		◆座長 宮路 直実 (岩手生研)		◆座長 小野木 章雄 (龍谷大)		
401	シロイヌナズナにおける ACS8 の発現上昇が雑種強勢に及ぼす影響 ☆白木 沙彩, 松尾 康大, 安田 剛志, 藤本 龍 (神大・院農学)	501	コムギ野生近縁種 <i>Aegilops umbellulata</i> Zhuk. におけるうどんこ病菌侵入後抵抗性の原因遺伝子座の同定 ☆河村 凌1, 岡田 萌子2,3,4, 古村 翔也1, 清水 健太郎4,5, 西村 和紗6, 井上 喜博1, 吉田 健太郎1 (1. 京大・院農, 2. 神戸大・院農, 3. 新潟大・院自然科学, 4. 横浜市大・木原生研, 5. チューリッヒ大・進化環境, 6. 岡山大・院環境生命自然)	601	ゲノミック予測の精度が育種計画に及ぼす影響の評価とその低減に向けて ☆濱崎 甲資1, 岩田 洋佳2, 津田 宏治1,3 (1. 理研・革新知能統合研究センター, 2. 東京大・院農学生命科学, 3. 東京大・院新領域創成科学)	9:00
402	DDM1 の機能喪失による雑種強勢低減と避陰反応による生育低下に共通する遺伝子の探索 ☆西村 慶太, 松尾 康大, 安田 剛志, 藤本 龍 (神戸大学大学院農学研究科)	502	コムギいもち病抵抗性遺伝子 <i>Rmg8</i> の単離 ☆足助 聡一郎1, 森田 耕平1, 清水 元樹2, 安倍 史高3, 永合 千佳1, 高橋 美力1, 柴田 菜依1, 吉岡 資洋1, 寺内 良平2, 土佐 幸雄1 (1. 神戸大・院農, 2. 農研機構・作物研, 3. 岩手生工研)	602	家系間交配による遺伝的多様性の拡がりの推定 ☆木下 青1, 櫻井 建吾1, 濱崎 甲資2, 津坂 宜宏3, 櫻井 美希3, 黒沢 輝枝3, 白澤 健太4, 磯部 祥子4, 岩田 洋佳1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 理研・革新知能統合研究センター, 3. 株式会社ツムラ, 4. かずさ DNA 研究所)	9:15
403	トランスクリプトーム解析から見出されたサツマイモとサツマイモネコブセンチュウのせめぎ合い ☆泉谷 真1, 大畑 慎一郎1, 田淵 宏朗2, 西田 英隆1, 加藤 鎌司1, 門田 有希1 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 農研機構・九沖研)	503	日本コムギ系統が持つコムギいもち病抵抗性遺伝子の探索 ☆曾田 圭一1, 足助 聡一郎2, 吉岡 資洋2, 土佐 幸雄2, 半田 裕一3 (1. 京都府大・生命環境, 2. 神戸大・院農学, 3. 京都府大・院生命環境)	603	パッチベイズ最適化を用いた遺伝子型と環境の最適組合せの探索 ☆望月 秀斗1, 濱崎 甲資2, 佐藤 睦志3, 阿部 陽4, 金 天海5,6, 下野 裕之5, 岩田 洋佳1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 理研・革新知能統合研究センター, 3. 夷風源, 4. 岩手理工学工学研究センター, 5. 岩手大学, 6. Sky Ocean Technology Co., Ltd.)	9:30
404	単為発生および自律的な胚乳発生を示すイネ PRC2 二重変異体の解析 ○殿崎 薫, 木下 哲 (横浜市大・木原生研)	504	コムギいもち病菌はイネに感染できない: その宿主特異性を決定している因子の単離 ○清水 元樹1, 足助 聡一郎2, 阿部 陽1, 土佐 幸雄2, 寺内 良平1,3 (1. 岩手生工研, 2. 神戸大学・農学研究科, 3. 京都大学・農学研究科)	604	GS, GWAS, 交配シミュレーションのためのインタラクティブなデータ駆動型育種プラットフォーム (DDB) ○本多 潔1, デイオ ジュリアン1, 本多 周平1, ビネダ ジュアンセサー1, ジェニングス ジェシー1, 岩田 洋佳2, 磯部 祥子3, 南川 舞2,4 (1. ListenField 株式会社, 2. 東京大学・院農学生命科学, 3. かずさ DNA 研究所, 4. 千葉大学・国際高等研究基幹)	9:45
◆座長 石井 孝佳 (鳥取大)		◆座長 松尾 宏樹 (京都大)		◆座長 南川 舞 (千葉大)		
405	エピゲノム制御を介したオオムギの芒形成機構の解析 ☆中村 光希1, 菊池 優一1, 白神 美瑞穂2, 小竹 敬久3, 武田 真1,2, 池田 陽子1,2 (1. 岡山大・院環境生命, 2. 岡山大・資源植物科学研, 3. 埼玉大学・理工学)	505	イネのいもち病罹病性遺伝子 <i>OsHIPP20</i> の同定 ☆及川 香梨1, 清水 元樹1, 宮路 直実1, 竹田 匠1, 藤崎 恒喜1, 寺内 良平1,2 (1. 岩手生工研, 2. 京都大学・農学研究科)	605	イネ全国データを対象に空間効果を考慮したゲノミック予測モデルの開発 ☆谷口 昇志1, 林 武司1, 中川 博視1, 松下 景2, 鐘ヶ江 弘美1, 矢野 昌裕1, 米丸 淳一1,2, 後藤 明俊1,2 (1. 農研機構・農産情報研究センター, 2. 農研機構・作物研究部門)	10:00
406	ベトナム <i>CHS-A</i> 遺伝子のコ-suppression における phased siRNA 産生は花の発生過程で siRNA の選択的増加を伴って拡大する ☆弐 真白, 金子 聡美, 河西 めぐみ, ドウイヤン ティマリア・ステファニア, 金澤 章 (北海道大学大学院農学研究科)	506	サツマイモの遺伝資源や育成品種および解析集団の苗の基盤病抵抗性評価 ○田淵 宏朗, 田中 勝, ハク エムダドゥル, 小林 晃, 境垣内 岳雄, 末松 恵祐, 川田 ゆかり, 小林 有紀 (農研機構九州沖繩農業研究センター)	606	ダイズにおける開花関連遺伝子の探索とそれら遺伝子情報に基づいた育種予測モデルの構築 ☆森 崇1, 西村 和紗2, 中野 聡史3, 小堀 裕之4, 元木 航2, 熊谷 悦史3, 加賀 秋人3, 岩田 洋佳5, 岩橋 優1, 長坂 京香1, 村田 和樹1, 木下 有羽1, 牧 隆宏1, 井上 博茂1, 中野 龍平1, 中川 博視3, 中崎 鉄也1 (1. 京都大・院農学, 2. 岡山大・院環境生命自然, 3. 農研機構, 4. グランドグリーン株式会社, 5. 東大・院農学生命科学)	10:15
407	<i>Phalaenopsis</i> 属原種及び <i>Doritaenopsis</i> 属における PHS 様遺伝子の単離及び特性評価 ☆小野田 惟吹, 高原 美規 (長岡技術科学大学・院物質生物)	507	高次元数体作物向け QTL-seq 法によるサツマイモの割病抵抗性 DNA マーカーの開発 ○山川 博幹1, 水林 達実1, 田中 勝2, 島田 峻3, 蔵之内 利和1, 西中 未央4 (1. 農研機構・作物研, 2. 農研機構・九沖研, 3. 茨城県農研, 4. 農研機構・中農研)	607	イチゴ交配実生の機械学習による鉢上げ個体の画像選抜 ○山田 栄成, 河田 智明, 望月 達史 (静岡県農林技術研究所)	10:30
408	コチヨウランの各器官における P-type H <sup>+</sup> ATPase の発現局在解析と <i>NHX1</i> 遺伝子の解析 ☆杉崎 練1, 高原 美規2 (1. 長岡技術科学大学・物質生物工学分野, 2. 長岡技術科学大学・物質生物系)	508	アブラナ科野菜における白さび病抵抗性遺伝子座乗領域の詳細化 ☆宮路 直実1,2, アクター アルジーナ1, 清水 元樹2, 中馬 いづみ3, 藤本 龍1 (1. 神戸大・院農学, 2. 岩手生工研, 3. 帯広畜産大)	608	後方予測を用いた X 線 CT による作物根系の 4 次元計測 ○寺本 翔太, 宇賀 優作 (農研機構・作物研究部門)	10:45
◆座長 津釜 大侑 (東京大)		◆座長 山内 卓樹 (名古屋大)		◆座長 角井 宏行 (東京大)		
409	エノキタケ子実体形成不全株の FDS 遺伝子形質転換体における子実体形成 ○立石 陽向, 藤野 優輝, 築山 拓司, 種坂 英次 (近畿大学農学部)	509	ダイズコアコレクションにおける二次通気組織形成の多様性 ☆鈴村 廉1, 後藤 万里奈2, 加賀 秋人3, 岩田 洋佳4, 縣 歩美1, 中国 幹生1, 高橋 宏和1 (1. 名大院生命科学, 2. 名大農, 3. 農研機構, 4. 東大院農学生命)	609	イネ 3 品種における試験管内花粉発芽と花粉管伸長に及ぼすスクロース濃度と培養期間の影響 ☆ Neema Yona Yohana1, 中野 有紗2, 貴島 祐治3, 星野 洋一郎1,2 (1. Division of Biosphere, Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University, 2. Field Science Center for Northern Biosphere, Division of Biosphere, Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University, 3. Division of Plant Breeding, Graduate School of Agriculture, Hokkaido University)	11:00
410	バレイショ野生種 <i>Solanum marinasense</i> に由来するグリコアルカロイド欠損系統の利用 ☆貫友 玲奈1, 波部 一平2, 西谷 なるみ1, 梅基 直行3 (1. 帯畜大・バレイショ, 2. 長崎県農林技術開発センター, 3. 理研・環境資源科学研究セ)	510	アブラナの湿害に起因する低酸素応答の調査 ○篠澤 章久1, 高橋 宏和2, 中国 幹生2, 松本 隆1, 伊澤 かなん1, 中村 進一1 (1. 東農大・バイオ, 2. 名大院・生命農)	610	イチゴ果実硬度とポリガラクトンローゼ遺伝子発現量との関係 ○浅尾 浩史, 浅野 峻介, 西本 登志, 安川 央央, 峯 圭司 (奈良農研セ)	11:15
411	WGS により効率的にトランスポソンの挿入を検出したイネ赤毛における新規 PPR 遺伝子の機能喪失変異体 ○石川 隆二, デイン ティ ラム (弘前大学 農学生命科学部)	511	イネの酸素漏出バリアの形成にはサイトカニン を介した外皮のスペリン化が必要である ○塩野 克宏1, 清水 香那1, 石川 愛佳1,2, 江尻 真斗1, 緒方 是嗣3, 山本 卓志3, 平修4 (1. 福井県大・生物資源, 2. 東北大・院生命科学, 3. 鳥津製作所, 4. 福島大・食農学)	611	ササゲ及びモデル植物の化学物質による除雑 ☆関口 結佳1, ウビベンジャミン2,3, 石井 孝佳1,3 (1. 鳥取大学・持続性社会創生科学, 2. エボニー 州立大学・バイオテクノロジー, 3. 鳥取大・乾燥地研究センター)	11:30
412	イネ葉緑体における RNA 編集に関する MORF2 遺伝子のトランスポソン挿入変異体の解析 ☆横井 望, デイン ティ ラム, 石川 隆二 (弘前大学 農学生命科学部)	512	エゾスナゴケ原系体からの茎葉体分化条件の解明 ○依田 悠希1, 高原 美規2 (1. 長岡技術大・院物質生物, 2. 長岡技術大・物質生物系)	612	イネ版 Micro-Tom 開発に向けた「日本晴」を遺伝背景とする準同質遺伝子系統群の作出 ○田中 淳一1,2, 谷口 洋二郎2 (1. 農研機構・本部, 2. 農研機構・作物研)	11:45



## 9月17日(日)午後 口頭発表プログラム

9月17日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 清水元樹(岩手生研)	◆座長 寺本翔太(農研機構)	◆座長 津田勝利(遺伝研)
13:15	113 ソバ・ゲノム・プロジェクト —その概要と展望— ○大田 竜也1, Jeffrey A. Fawcett2, 竹島 亮馬3, 菊池 真司4, 大迫 敬義5, 白澤 健太6, 法月 美悠4, 松井 勝弘3, 矢崎 裕規2, 小木曾 映里7, 藤井 健一郎3, 原 尚資8, Martin K. Jones9, 平川 英樹6, Cheng-Yun Li10, 安井 康夫11 (1. 総研大・統合進化科学研究センター, 2. 理研・数理創造プログラム, 3. 農研機構・作物研究部門, 4. 千葉大・院園芸学, 5. 京都府大・院生命環境, 6. かずさDNA研究所, 7. 科博・分子生物多様性研究資料センター, 8. 農研機構・北海道農研, 9. ケンブリッジ大, 10. 雲南農業大, 11. 京大・院農)	213 シロイヌナズナの雑種強勢に関わるゲノム領域の探求 ☆藤原一将1, 宮路直実2, 安田 剛志1, 藤本 龍1 (1. 神戸大・院・農学, 2. 岩手生工研)	313 細胞骨格のイメージングと重合阻害によるイネシュート頂メリステムの発生学的解析 ☆高田 峻輔1, 田中 真理1, 武内 秀憲2, 丸山 大輔1, 井藤 純1, 辻 寛之1,3 (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 名古屋大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, 3. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)
13:30	114 NGS-TILLING を利用したモチ性ソブソバの開発 ○安井 康夫1, ジェフリフォーセット2, 田中 朋之1, 西村 和紗1,3, 中崎 鉄也1, 岩橋 優1, 齊藤 大樹4, 竹内 直子1, 上野 まりこ1,5, 白澤 健太6, 平川 英樹6, 大田 竜也7 (1. 京都大・農学研究科, 2. 理研・数理創造プログラム, 3. 岡山大・院環境生命自然, 4. 国際農研・熱帯島嶼研究拠点, 5. 東京農工大・農学研究院, 6. かずさDNA研究所, 7. 総研大・統合進化科学研究センター)	214 シロイヌナズナの耐塩性とバイオマスのヘテロシスの関係性 ☆神矢 良樹, Mehraj Hasan, 安田 剛志, 藤本 龍 (神戸大学大学院農学研究科)	314 シングルメリステム RNA-seq 解析によるオオムギ茎頂メリステムの連続的な発生ステート推移の解明 ○井藤 純1, 野村 有子1, 高萩 航太郎1, 金 俊植2,3, 鹿島 誠4, 岡田 聡史5, 佐藤 奈緒1, 清水 みなみ2, 最相 大輔3, 持田 恵一2, 平山 隆志3, 辻 寛之1,5 (1. 横浜市大・木原生研, 2. 理研・環境資源科学研究センター, 3. 岡山大・植物研, 4. 東邦大・理, 5. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)
13:45	115 ソバゲノム解読から見えてきたフラボノイド合成制御系 ○松井 勝弘1, 大島 良美2, 光田 展隆2, 坂本 真吾2, フォーセット ジェフリ3, 平川 英樹4, 大田 竜也5, 安井 康夫6 (1. 農研機構・作物研, 2. 産総研・生物プロセス, 3. 理研・数理創造プログラム, 4. かずさDNA研究所, 5. 総研大・統合進化科学研究センター, 6. 京都大・農学研究科)	215 イネのデジタル 3D モデルによる計測法の開発 ☆ Sorawich Pongpiyapaiboon1, 田中 秀典2, 平野 翔也3, 貴島 祐治3, 明石 良4 (1. 宮崎大・院農工, 2. 宮崎大・農, 3. 北大・農, 4. 宮崎大)	315 オオムギの節間伸長に花序は必要か 田中 真理1, 赤司 裕子1, ○辻 寛之1,2 (1. 横浜市立大学・木原生物学研究所, 2. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)
14:00	116 ソバの異形花型自家不和合性の分子機構とゲノム構造 ☆竹島 亮馬1, Jeffrey Fawcett2, 松井 勝弘1, 水野 信之1, 松本 大生3, 平川 英樹4, 大田 竜也5, 安井 康夫6 (1. 農研機構・作物研, 2. 理研・数理創造プログラム, 3. 福井県立大・院農, 4. かずさDNA研究所, 5. 総研大・統合進化科学研究センター, 6. 京大・院農)	216 デジタル 3D モデルを用いた同一イネ品種の2倍体と4倍体成長パターンの比較 ☆平野 翔也1, Sorawich Pongpiyapaiboon2, 笹川 静香1, 高牟禮 逸朗1, 田中 秀典3, 明石 良4, 貴島 祐治1 (1. 北大農, 2. 宮崎大・農工総合研究科, 3. 宮崎大・農学部, 4. 宮崎大)	316 三次元タイムラプス撮影によるイネ葉原基の1細胞成長解析 ☆徳山 芳樹1, Robert Kelly-Bellow2, Richard S. Smith2, 小出 陽平3 (1. 北海道大学大学院農学院, 2. Department of Computational and System Biology, John Innes Centre, 3. 北海道大学農学研究科)
	◆座長 保坂 碧(横浜市大)	◆座長 小松 邦彦(農研機構)	◆座長 高木 宏樹(石川県大)
14:15	117 ゲノム・トランスクリプトーム解析を繰り返して辿り着いたヒメツルアズキの耐塩性遺伝子 伊藤 海帆1, 武藤 千秋2, 武本 昌大3, 門田 有希4, ○内藤 健2 (1. 東大・院新領域創成, 2. 農研機構・資源研, 3. 岡山大・農, 4. 岡山大・院環境生命自然)	217 2つの多系交雑集団の GWAS で推定したイネの玄米とワラの元素含量に関する QTL の比較 ☆張 乾1, 古田 智敬1, 柏原 壱成1, 小川 大輔2, 米 丸 淳一3, 馬 建鋒1, 山本 徹央1 (1. 岡山大・院・環境生命・植物研, 2. 農研機構・作物研, 3. 農研機構・農情研)	317 雌花着生率が異なるホウレンソウ間性株のトランスクリプトーム解析 ☆山野 薫1, パチャキル バビル2, 田中 啓介2,3, 平川 英樹4, 小野寺 康之5 (1. 北海道大学大学院農学院, 2. 東京農業大学 生物資源ゲノム解析センター, 3. 東京情報大学 総合情報学部, 4. かずさDNA研究所, 5. 北海道大学大学院 農学研究科)
14:30	118 雌雄異株植物オニドコロにおける性決定候補遺伝子の同定 ☆工藤 葵1, 杉原 優2, 阿部 陽3, 及川 香梨3, 夏目 俊3, 清水 元樹3, 伊藤 和江3, 辻村 真衣4, 寺地 徹5, 太田 敦士1, 寺内 良平1 (1. 京都大・農, 2. The Sainsbury Laboratory, 3. 岩手生工研, 4. 龍谷大・農, 5. 京産大・生命科学)	218 ダイズ種子に含まれるイソフラボンの高ゲニステイン化をもたらす新規遺伝子の同定 ○渡邊 啓史1, 入江 珠璃1, 山田 梨菜1, 穴井 豊昭2 (1. 佐賀大学農学部, 2. 九大院農)	318 コムギ '農林 61号' の栄養発長初期におけるトランスクリプトームの動態と juvenile-adult 相転換との関連 ☆妹尾 哉汰1, 山森 晃一2, 吉岡 俊輔2, 那須田 周平2, 吉川 貴徳3 (1. 京都大・農学, 2. 京都大院・農学, 3. 国立遺伝学研究所)
14:45	119 MSH1 はミスマッチ塩基対を切断することによって、ミトコンドリアゲノムの修復に関与している。 ☆周 暢, 堤 伸浩, 有村 慎一 (東大・院農学)	219 Stay-green 変異の集積が青ダイズのクロロフィル含量に及ぼす影響 ☆長谷 彩花1, 中野 春菜2, 阿部 純3, 山田 哲也3 (1. 北海道大学大学院農学院, 2. 北海道大学農学部, 3. 北海道大学大学院農学研究科)	319 圃場の軽度の干ばつにおけるダイズの応答 ☆永利 友佳理1, 伊ヶ崎 健大2, 小林 安文1, 水野 信之3, 杉田 亮平4, 竹林 裕美子5, 小嶋 美紀子5, 榊原 均5,6, 小林 奈通子7, 田野井 慶太郎7, 藤井 健一郎1, 馬場 隼也1, 小木曾 映里8, 石本 政男9, 安井 康夫3, 大矢 徹治2, 藤田 泰成1,10 (1. 国際農研 生物資源・利用, 2. 国際農研 生産環境・畜産, 3. 京大・院・農, 4. 名大・アイソトープ総合センター, 5. 理研・環境資源科学研究センター, 6. 名大・院・生命農学, 7. 東大・院・農学生命科学, 8. 国立科学博物館・分子センター, 9. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 10. 筑波大・生命環境)
15:00	120 植物ミトコンドリア DNA におけるシトシンメチル化の探索 ☆鐘 豆陽1, 奥野 未来2, 堤 伸浩1, 有村 慎一1 (1. 東京大・農, 2. 久留米大・医)	220 成分分析を介したアズキ種皮色に関する遺伝的洞察 ☆笹田 弘樹1, 佐藤 雄斗2, 友岡 憲彦3, 高橋 有3, 山田 哲也2 (1. 北海道大学大学院・農学院, 2. 北海道大学大学院・農学研究科, 3. 農研機構)	320 <i>Vigna luteola</i> の Na <sub>2</sub> K 動態に関する耐塩性遺伝子候補の同定 ☆壹岐 友里恵1, Fanmiao Wang2, 伊藤 広輔1, 野田 祐作3, 若竹 崇雅4, 田野井 慶太郎5, 内藤 健2 (1. 東大・院新領域, 2. 農研機構・遺伝資源研究センター, 3. 高崎量子応用研究所, 4. 奈良先端大・先端科学技術, 5. 東大・院農学生命)

第4会場		第5会場		第6会場		9月17日
◆座長 雑賀啓明 (農研機構)		◆座長 國吉大地 (熱帯農研)		◆座長 田口和憲 (農研機構)		
413	<p>農業・食品分野のゲノム編集への理解醸成に向けた情報発信とアウトリーチ活動</p> <p>○高原 学1, 中野 善公1,2, 森山 力1,3, 大田 方人1, 赤羽 幾子1, 住友 克彦1, 藤野 賢治1, 水野 浩志1, 笠井 誠1, 西山 哲史4, 立花 智子4, 中嶋 香織4, 藤井 毅5 (1. 農研機構 企画戦略本部 新技術対策課, 2. 農研機構 野花研, 3. 福島国際研究教育機構, 4. (株) リバネス, 5. JATAFF)</p>	513	<p>イネ蒴培養効率の日開差を生じる遺伝子因子の探索</p> <p>☆工藤 七海1, Elias Balimponya1, 岡本 吉弘2, 貴島 祐治1 (1. 北大院農, 2. 酪農大)</p>	613	<p>コンバインによるダイレクト収穫でロスが少ないアズキ新品種「十育180号」の育成</p> <p>☆長澤 秀高1, 堀内 優貴1, 中川 浩輔1, 佐藤 博一1, 奥山 昌隆1, 佐藤 仁2, 萩原 誠司1, 山口 直矢2, 鴻坂 扶美子2, 田澤 暁子3, 村田 暢明1 (1. 北海道立総合研究機構・十勝農業試験場, 2. 同・中央農業試験場, 3. 同・北見農業試験場)</p>	13:15
414	<p>ミトコンドリアゲノム編集によるナスの雄性不稔遺伝子ノックアウト系統の作出</p> <p>○辻村 真衣1, 静 貴子2, 宮田 暉大3, 須佐見 朝日4, 有村 慎一5, 寺地 徹3 (1. 龍谷大・農学部, 2. 京産大・植物科学研究セ, 3. 京産大・生命科学部, 4. 京産大・院生命科学, 5. 東大・農学生命科学研究科)</p>	514	<p>パールミレット完熟種子を用いたアグロバクテリウム形質転換法の構築</p> <p>☆青木 亮磨1, 石井 孝佳2, 吉田 健太郎1 (1. 京大・院農, 2. 鳥取大・乾地研)</p>	614	<p>宮崎在来野菜「日向カボチャ」の品種改良～品種間交雑によるF<sub>1</sub>新系統の育成～</p> <p>○陳 蘭庄1,2, 堀 寿和1, 上岡 慎也1, 吉村 和人2, 松瀬 光宗1, 成木 大河1, 久保田 涼1 (1. 南九州大学環境園芸学部, 2. 南九州大学大学院園芸学・食品科学研究科)</p>	13:30
415	<p>ステロイドグリコアルカロイド低生産性ゲノム編集バレイシヨ (品種さやか) の屋外栽培試験</p> <p>○山崎 宗一郎1, 浅野 賢治2, 赤井 浩太郎2, 梅基 直行3, 齊藤 和季3, 安本 周平4, 村中 俊哉4,5 (1. 農研機構 生物機能利用研究部門, 2. 農研機構 北海道農業研究センター, 3. 理研 環境資源科学研究センター, 4. 大阪大学大学院 工学研究科, 5. 大阪大学大学院 先導的学際研究機構)</p>	515	<p>アジア栽培イネとオーストラリア産野生イネ系統との交雑後代に見出された第3染色体に座乗する分離歪み遺伝子の連鎖分析</p> <p>☆柴田 雪花1, 片野 航貴2, 高橋 龍成1, 前田 幸暉浩1, 田浦 悟3, ヘンリー ロバート4, 石川 隆二5, 一谷 勝之6 (1. 鹿大・院農林水産学, 2. タキイ種苗, 3. 鹿大・遺伝子実験施設, 4. クイーンズランド大学, 5. 弘前大・農学生命科学, 6. 鹿大・農学)</p>	615	<p>日長感応性細胞質雄性不稔を利用するハイブリッド小麦の花粉親系統</p> <p>○村井 耕二1, 多田 博子1, 竹之内 悠2 (1. 福井県大・創造農学, 2. ホクレン・長沼研究農場)</p>	13:45
416	<p>標的変異導入による醸造用裸性オオムギの創出</p> <p>○久野 裕1, 坂井 寛章2, 濱岡 美香1, 宗森 広美1, 安倍 史高3, 佐藤 和広1, Patrick M. Hayes4 (1. 岡山大・植物研, 2. 農研機構 高度分析研究センター, 3. 農研機構 作物研, 4. オレゴン州立大)</p>	516	<p>ブレブリーディング集団作出に向けたコムギ近縁野生種 <i>Aegilops umbellulata</i> Zhuk. 33 系統とパンコムギの交雑</p> <p>☆孫 櫻1, 笠登 望1, 岡田 萌子2, 吉田 健太郎3, 松岡 由浩1 (1. 神戸大・院農学, 2. 新潟大・院自然科学, 3. 京大・院農学)</p>	616	<p><i>Zoysia</i> 属植物を分類できる分子マーカーによる生産圃場の品種評価</p> <p>○田中 裕之1, 魚住 保幸2, 山田 茂秋2 (1. 鳥取大・農, 2. (株) チュウブ)</p>	14:00
◆座長 殿崎薫 (横浜市大)		◆座長 山形悦透 (九州大)		◆座長 鐘ヶ江弘美 (農研機構)		
417	<p>イネの OsbZIP はリンと窒素吸収を制御し収量増に寄与する</p> <p>○田中 伸裕1, 吉田 紗貴2, Islam Saiful2, 山崎 清志2, 藤原 徹2, 大森 良弘3 (1. 農研機構作物研, 2. 東京大学農学生命科学研究科, 3. 東京大学農学生命科学研究科アグリバイオインフォマティクス教育研究ユニット)</p>	517	<p>A<sup>4</sup>A<sup>4</sup>BBA<sup>m</sup>A<sup>m</sup> 合成六倍体コムギとパンコムギの間でみられる雑種ネクロシス原因遺伝子座領域の同定</p> <p>☆奥田 悠人1, 野口 微風子2, 古村 翔也3, 村田 和樹3, 岡田 萌子2,4,5, 水野 信之6, 小林 史典6, 西村 和紗7, 井上 喜博3, 那須田 周平3, 松岡 由浩2, 吉田 健太郎3 (1. 京大・農, 2. 神戸大・院農, 3. 京大・院農, 4. 新潟大・院自然科学, 5. 横浜市大・木原生研, 6. 農研機構 作物研, 7. 岡山大・院環境生命自然)</p>	617	<p>農業生物資源ゾーンバンクにおけるカイコの遺伝資源利用の傾向</p> <p>○柴田 静香 (農研機構 遺伝資源研究センター)</p>	14:15
418	<p>コウシュンシバにおける STAYGREEN (SGR) 遺伝子のゲノム編集</p> <p>☆平田 真里菜1, 黄 婉媚2, 権藤 崇裕3, 明石 良4 (1. 宮崎大・農学研究科, 2. 宮崎大・農工総合研究科, 3. 宮崎大・フロンティア, 4. 宮崎大)</p>	518	<p>Pairing homoeologous 2 欠失変異体を利用したパンコムギへの異種染色体断片導入</p> <p>☆田淵 雅啓1, 岡田 萌子2,3,4, 道川 麻美2, 井上 喜博1, 西村 和紗5, 水野 信之6, 清水 健太郎4,7, 小林 史典6, 宅見 薫雄2, 吉田 健太郎1 (1. 京大・院農, 2. 神戸大・院農, 3. 新潟大・院自然科学, 4. 横浜市大・木原生研, 5. 岡山大・院環境生命自然, 6. 農研機構 作物研, 7. チューリッヒ大・進化環境)</p>	618	<p>ヒユナ遺伝資源の多様な表現型に関するゲノムワイド関連解析</p> <p>☆星川 健1,2, Ya-ping Lin2, 吉岡 洋輔3, 大久保 日奈4, Roland Schafleitner2, 白澤 健太5, 磯部 祥子5 (1. 国際農研, 2. World Vegetable Center, 3. 筑波大・生命, 4. 筑波大・院理工情報生, 5. かずさ DNA 研究所)</p>	14:30
419	<p>バヒアグラスにおけるリグニン生合成に関わる CAD 遺伝子のゲノム編集 - CAD 変異遺伝子座のホモ集団の作出とその評価 -</p> <p>☆綿島 彩華1, 権藤 崇裕2, 明石 良3 (1. 宮崎大・農学研究科, 2. 宮崎大・フロンティア科学総合研究センター, 3. 宮崎大)</p>	519	<p>アフリカイネとアジアイネの4倍体種間雑種における HS 座</p> <p>☆國吉 大地1,2, 石原 萌2, 佐藤 裕3, 貴島 裕治2 (1. 国際農研・熱帯島嶼研究拠点, 2. 北海道大・農学院, 3. 農研機構 北農研)</p>	619	<p>北海道で栽培された大豆ミニコアコレクション (一部) のトコフェロール組成の評価</p> <p>○Maria Stefanie Dwiyantini1, Flavia Aurelia2, Sylvana Christin1 (1. 北海道大学大学院農学研究科, 2. スイス・ジャーマン大学)</p>	14:45
420	<p>イネヘテロ3量体 G タンパク質 γ2 サブユニットの機能欠損変異は幼苗致死を引き起こす</p> <p>☆茶谷 弦輝1, 藤田 萌香1, 岩崎 行玄1, 三浦 孝太郎1 (1. 福井県立大学・生物資源, 2. 福井県農業試験場)</p>	520	<p><i>O. sativa</i> と <i>O. glaberrima</i> の4倍体種間雑種イネで見いだされた種子および花粉粘性の向上に関わる遺伝領域</p> <p>☆岡 大晴1, 古田 智敬1, 柏原 孝成1, 牟 端瑞1, 貴島 祐治2, 長岐 清孝1, 山本 敏央1 (1. 岡山大・院環境生命・植物研, 2. 北海道大・院・農)</p>	620	<p>静岡県が保有するチャ遺伝資源 2500 系統の遺伝構造解析</p> <p>☆石黒 雄大1, 山下 寛人2,3, 川木 純平4, 永野 惇5,6, 一家 崇志2,3,7 (1. 静大・院農, 2. 静大・農, 3. 静大・ティーサイエンス研, 4. 静岡県・茶研, 5. 龍谷大・農, 6. 慶應大・先端生命研, 7. 静大・グリーン研)</p>	15:00

9月17日(日)午後 口頭発表プログラム

9月17日	第1会場	第2会場	第3会場
15:15	◆座長 縣歩美 (名古屋大)	◆座長 竹島亮馬 (農研機構)	◆座長 内藤健 (農研機構)
121	ニガウリにおける雌雄比率に関わる QTL の探索 ☆ Siti Norhayati Ismail, 軽部 晴 1, 宮城 徳道 2, 谷合 直樹 2, 太郎良 和彦 2, 浦崎 直也 2, 松村 英生 3 (1. Grad. Sch. Sci. Tech., Shinshu Univ., 2. Okinawa Pref. Agri. Res. Ctr., 3. Gene Res. Ctr., Shinshu Univ.)	221 四倍体コムギにおける収量関連形質の進化の二型性: 穂数型か穂重型か ☆古島 悠生 1, 吉岡 俊輔 1, 谷吉 和貴 1, 吉川 貴徳 1, 2, 田中 佑 1, 3, 那須田 周平 1 (1. 京都大院・農学, 2. 国立遺伝学研究所, 3. 岡山大院・環境生命自然科学)	321 講演取り消し
15:30	122 同質四倍体イネ分離集団における遺伝解析法の構築および QTL の探索 ☆岡田 脩平 1, 蒲池 行美 1, Zin Mar Myint 1, 貴島 祐治 2, 小出 陽平 2 (1. 北海道大学大学院農学院, 2. 北海道大学農学研究院)	222 ダイズ育種事業における収量関連形質のゲノミック予測精度 ○山口 直矢 1, 五十嵐 秀成 2, 高橋 春南 2, 萩原 誠司 2, 鈴木 千賀 2, 小林 聡 2 (1. 道総研中央農試, 2. 道総研十勝農試)	322 SNP データの編集・管理を行うツール「Mi-Geno」の開発 ○磯部 祥子 1, 清水 武彦 1, 服部 智樹 2, 山田 学 1, 七夕 高也 1 (1. かずさ DNA 研究所, 2. IT Contractor)
15:45	123 水稲品種「つや姫」の良食味関連形質に関与する QTL の効果 ○石塚 和 1, 渡部 貴美子 1, 2, 齋藤 亮平 1, 齋藤 信弥 1, 佐藤 智浩 3, 安達 成美 4, 5, 堀 清純 6, 若山 正隆 7, 8 (1. 山形県農業総合研究センター水田農業研究所, 2. 現: 山形県庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課, 3. 元: 山形県農業総合研究センター水田農業研究所, 4. 山形県農業総合研究センター, 5. 現: 山形県庁, 6. 農研機構・作物研究部門, 7. 元: 慶應義塾大学先端生命科学研究所, 8. 現: 愛媛大学大学院医農融合公衆衛生学環)	223 カンショ品種「あまはづき」における短期貯蔵と貯蔵温度が品質に与える影響 ○西中 未央, 田口 和憲 (農研機構・中日本農業研究センター)	323 植物ゲノム情報ポータルサイト「Plant GARDEN」の改訂(2023年度・第2四半期版) ☆市原 寿子 1, 小原 光代 1, 山下 サマツチャヤー 1, 山田 学 1, 清水 武彦 1, 白澤 沙知子 1, 戸田 陽介 1, 平川 英樹 1, 中村 保一 1, 2, 七夕 高也 1, 田畑 哲之 1, 磯部 祥子 1 (1. (公財) かずさ DNA 研究所, 2. 国立遺伝学研究所)
16:00	124 ソルガムの苞穎長・苞穎の硬さ・閉花受粉形質を同時に制御する遺伝子座の同定 ☆牧野 葵, 石森 元幸, 山崎 清志, 藤原 徹, 岩田 洋佳, 堤 伸浩, 高梨 秀樹 (東京大学大学院農学生命科学研究科)	224 パン用コムギ品種「夏黄金」のユニークなドウ特性 ○池永 幸子, 中村 俊樹, 中丸 親子, 伊藤 裕之 (農研機構東北農業研究センター)	324 「Pedigree Finder」を用いた系譜情報解析-近縁係数の算出および家系解析による表現型伝達の可視化- ○鐘ヶ江 弘美, 林 武司, 米丸 淳一 (農研機構・農情研)

9月17日(日)午後 口頭発表プログラム

第4会場		第5会場		第6会場		9月17日
◆座長 手塚孝弘 (大阪公大)		◆座長 深井英吾 (新潟大)		◆座長 川浦香奈子 (横浜市大)		
421	タバコ祖先種 <i>Nicotiana sylvestris</i> 変異体ライブラリーの作製 ○高倉由光 1, 宇田川久史 1, 真龍洋 1, 竹内貴規 1, 2, 新井雅雄 1, 田島智之 1 (1. 日本たばこ産業(株) 葉たばこ研究所, 2. 京都大学大学院農学研究科)	521	アツバクコ ( <i>Lycium sandwicense</i> ) の自家和合性に S 遺伝子座の重複が関与する可能性 ☆池部 洸太, 佐々 英徳 (千葉大・院園芸学)	621	ゲノムワイド SNPs を用いた日本産食用ヤマノイモ類の系統解析 ☆美濃地 弘樹 1, 太田 敦士 1, 杉原 優 2, 工藤 葵 1, 堺 俊之 1, 寺内 良平 1, 3 (1. 京大院・農, 2. The Sainsbury Laboratory, 3. 岩手生物工学研究センター)	15:15
422	<i>Nicotiana sylvestris</i> 変異体ライブラリーを利用した forward genetics : 低アルカロイド変異体と原因遺伝子の同定 ○竹内 貴規 1, 2, 新井 雅雄 1, 宇田川 久史 1, 真龍 洋 1, 高倉 由光 1 (1. 日本たばこ産業 (株) 葉たばこ研究所, 2. 京都大学大学院農学研究科)	522	ダイコン自家不和合性における 6 つの class-II S ハプロタイプの花粉側優劣性は 2 つの S ハプロタイプが最劣性の直線的優劣関係を示す ☆山下 雅大, 石井 朝子, 山本 雅也, 北柴 大泰 (東北大・院・農学)	622	<i>Hippophae</i> 属植物の比較色体ゲノム解析 ○朝倉 史明 1, 高橋 悠生 2, 野田 雅人 2, 上野 伸治 2, 荒井 直樹 1, 河合 義隆 3 (1. 神奈川大・化学生命, 2. 神奈川大・工, 3. 東京農大・農)	15:30
423	<i>Nicotiana sylvestris</i> 変異体ライブラリーを利用した reverse genetics : carotenoid cleavage dioxygenase 4 遺伝子変異体とその解析 ○真龍 洋, 新井 雅雄, 大山 清, 宇田川 久史, 高倉 由光 (日本たばこ産業 (株) 葉たばこ研究所)	523	アブラナ科植物自家不和合性の柱頭因子 AISRkb の受容体ドメインにおける機能欠損を起こす変異の多くは立体構造の不安定化が原因である ○山本 雅也 1, 大竹 章太郎 1, 篠澤 章久 2, 城田 松之 4, 三井 裕樹 3, 北柴 大泰 1 (1. 東北大・農, 2. 東京農大・生物資源ゲノムセンター, 3. 東京農大・農, 4. 東北大・医)	623	国内小麦品種に存在した <i>Ppo-A1</i> 機能欠失型アレルの由来 ☆中丸 観子 1, 2, 加藤 啓太 3, 池永 幸子 1, 中村 俊樹 1 (1. 農研機構・東北農業研究センター, 2. 岩手大学大学院連合農学研究科, 3. 農研機構・西日本農業研究センター)	15:45
424	タバコ属近縁野生種間に見出された染色体突然変異頻度の顕著な差異 ☆中田 康貴, 金勝 一樹, 山田 哲也 (農工大・院連農)	524	H3K27me3 レベル改変による <i>Oryza sativa</i> × <i>O. australiensis</i> の雑種胚乳における生殖的隔離の打破 ☆黒坂 絵美 1, 中山 怜南 1, 古海 弘康 2, 佐藤 豊 2, 木下 哲 3, 畠山 勝徳 1, 殿崎 薫 3 (1. 岩手大・農, 2. 遺伝研, 3. 横浜市大・木原生研)	624	コムギ NAM 集団の茎立ち期における UAV によるハイスルーブットフェノタイプングおよび UAV から得られた形質と収量関連形質との関連 ☆吉岡 俊輔 1, 黒木 健 1, 2, 新田 みゆき 1, 藤 紀魯 1, 石井 昌範 3, 角井 宏行 1, 3, 岡田 萌子 4, 5, 7, 竹中 祥太朗 6, 清水 健太郎 4, 5, 岩田 洋佳 3, 郭 威 3, 那須 田 周平 1 (1. 京大院・農, 2. 東大・院理, 3. 東大・院農学生命科学, 4. 横浜市大・木原生研, 5. チューリッヒ大・進化生物環境学研, 6. 龍谷大・農, 7. 新潟大・院自然科学)	16:00

## 口頭発表 講演番号・座長一覧

会場 日程	第1会場 LR501	第2会場 LR401	第3会場 LR402	第4会場 LR301	第5会場 LR302	第6会場 LR201
9月16日 午前	101-104 古田 智敬 9:00-10:00	201-204 高梨 秀樹 9:00-10:00	301-304 妻鹿 良亮 9:00-10:00	401-404 三村 真生 9:00-10:00	501-504 宮路 直実 9:00-10:00	601-604 小野木 章雄 9:00-10:00
	105-107 吉川 貴徳 10:00-10:45	205-208 大西 一光 10:00-11:00	305-308 塩野 克宏 10:00-11:00	405-408 石井 孝佳 10:00-11:00	505-508 松尾 宏樹 10:00-11:00	605-608 南川 舞 10:00-11:00
	108-110 北崎 一義 10:45-11:30	209-212 渡邊 啓史 11:00-12:00	309-312 佐久間 俊 11:00-12:00	409-412 津釜 大侑 11:00-12:00	509-512 山内 卓樹 11:00-12:00	609-612 角井 宏行 11:00-12:00
9月17日 午前	ポスター発表 9:00-11:00(神戸大学 百年記念館)					
9月17日 午後	113-116 清水 元樹 13:15-14:15	213-216 寺本 翔太 13:15-14:15	313-316 津田 勝利 13:15-14:15	413-416 雑賀 啓明 13:15-14:15	513-516 國吉 大地 13:15-14:15	613-616 田口 和憲 13:15-14:15
	117-120 保坂 碧 14:15-15:15	217-220 小松 邦彦 14:15-15:15	317-320 高木 宏樹 14:15-15:15	417-420 殿崎 薫 14:15-15:15	517-520 山形 悦透 14:15-15:15	617-620 鐘ヶ江 弘美 14:15-15:15
	121-124 縣 歩美 15:15-16:15	221-224 竹島 亮馬 15:15-16:15	321-324 内藤 健 15:15-16:15	421-424 手塚 孝弘 15:15-16:15	521-524 深井 英吾 15:15-16:15	621-624 川浦 香奈子 15:15-16:15

### 日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

#### 1. エントリー制を採用します。

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

#### 2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいますようお願いいたします。



# 第64回シンポジウムプログラム

1日目 (9月16日) 午後 13:30~17:45

第1会場 (LR501)

## ゲノム編集技術の現状と植物育種への応用

Genome editing: Current status and application to plant breeding

主任：吉田 均 (農研機構・生物機能利用研究部門)

Organizer: Hitoshi Yoshidai (Inst. Agrobiol. Sci., NARO)

共催：ゲノム編集知見集積コンソーシアム

### はじめに Introduction

これからの育種システムにおけるゲノム編集技術の役割と課題

Roles and issues of genome editing in future breeding systems

○吉田 均 (農研機構・生物機能利用研究部門)

○Hitoshi Yoshida i (Inst. Agrobiol. Sci., NARO)

### 1 ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材の開発—特にばれいしょの状況について

Development of crop varieties and breeding materials using genome editing technology - including R&D strategy of genomeedited potatoes

○村中 俊哉 (阪大・院工・生物工学 / 阪大・先導的学際研究機構)

○Toshiya Muranaka (Dept. Biotechnol., Grad. Sch. Eng., Osaka Univ./OTRI, Osaka Univ.)

### 2 植物個体を酵素で直接ゲノム編集する技術—iPB法

The iPB method allows in planta genome editing with CRISPR/Cas9 ribonucleoprotein

○今井 亮三 (農研機構・生物機能利用研究部門)

○Ryozo Imai (Inst. Agrobiol. Sci., NARO)

### 3 葉緑体とミトコンドリアのゲノム編集技術の現状と植物育種への応用可能性

Genome editing for chloroplast and mitochondria and its potential for breeding

○有村 慎一 (東京大・院農学生命科学)

○Shin-ichi Arimura (Grad. Sch. Agr. Life Sci. Univ. Tokyo)

### 4 ゲノム編集の先にあるビジネス未来と課題

Business futures and challenges beyond the development of gene editing technology

○竹下 達夫 (サナテックシード株式会社)

○Tatsuo Takeshita (Sanatech Seed Co., Ltd.)

### 5 海外におけるゲノム編集作物の取り扱い方針および開発動向

Handling policy and development trends of genome-edited crops in other countries

○笠井 美恵子 (米国種苗協会)

○Mieko Kasai (American Seed Trade Association)

# ワークショッププログラム

1 日目 (9月16日) 午後

	第2会場 LR401	第3会場 LR301	第6会場 LR201
	<p><b>W02</b> 植物オルガネラゲノム育種の可能性</p> <p>Prospects for organelle genome breeding</p> <p>企画者：風間 智彦 (九州大・院・農)，竹中 瑞樹 (京大・院・理)</p> <p>後援：基盤研究 (S) 「植物ミトコンドリアゲノム育種の基盤創出」，日本学術振興会 研究拠点形成事業「植物オルガネラ研究の国際拠点形成」</p>	<p><b>W05</b> アブラナ科作物の遺伝・育種学の未来像を描く</p> <p>Advances and perspectives of genetics and breeding in <i>Brassicacea</i> crops</p> <p>企画者：肥塚 信也 (玉川大・農)，高木 宏樹 (石川県大)</p>	<p><b>W04</b> 若手研究者による農学的興味を広げ合い第3回～これからの農学とは～</p> <p>Discovery of New Interests by Young Scientists ～Toward Next Agriculture～</p> <p>企画者：梨木 聡人1, 山森 晃一2, 古村 翔也2, 工藤 葵2, 葉田 恵理子3, 竹内 亜美4, 清水 浩晶5, 小川 泰生2, 岡田 萌子6 (1. 筑波大院・理工情報生命学術院, 2. 京大院・農学研究科, 3. 岡山大院・環境生命自然科学研究科, 4. 東大院・新領域, 5. 農研機構・九州沖縄農業研究センター, 6. 新潟大・院自然科学)</p>
13:30	「植物オルガネラゲノム育種システム確立の取組みと展望」	「アブラナ科作物研究の過去から学ぶ」	「組織培養技術を用いた基礎・応用研究～農業利用を目指して～」 Basic and applied research using tissue culture technology: Toward agricultural applications 竹内 亜美 (東大院・新領域)
13:35	Approaches and Prospects for Plant Organelle Genome Breeding System 堤 伸造 (東京大・院・農生命)	The importance of old studies in <i>Brassicacea</i> crop researches to prospect future study 渡辺 正夫 (東北大・院生命科学)	
13:40	「トマトおよびジャガイモにおけるCMS原因遺伝子の探索」	「ダイコンにおける細胞質雄性不稔 / 稔性回復系の多様性」 Diversity of cytoplasmic male sterility and fertility restoration systems in radish 山岸 博 (京都産業大学 名誉教授)	「育種の現場における植物遺伝資源利用」 Application of plant genetic resource in breeding 清水 浩晶 (九州沖縄農業研究センター)
13:55	Search for CMS-causing genes in tomato and potato 桑原 康介1, 中嶋 梨花1, 小達 夏輝2, 有村 慎一3, 白澤 健太4, 有泉 亨5 (1. 筑波大・院・理工情報生命, 2. 筑波大・生物資源, 3. 東京大・院・農生命, 4. かずさDNA 研究所, 5. 筑波大・生命環境系)		
14:00	「細胞質雄性不稔性イネを用いたミトコンドリアゲノム編集の現状と今後の課題」	「アブラナ科作物における次世代シーケンスとゲノム育種」 Next generation sequencing and genome breeding in <i>Brassicacea</i> crops 高木 宏樹 (石川県大)	「植物病原系状菌の宿主適応に貢献する分泌タンパク質遺伝子の探索～病原菌研究への植物遺伝資源の利用～」 Identification of the effector genes of the cucurbit anthracnose pathogen: Use of plant genetic resources for the studies on phytopathogenic fungus 小川 泰生 (京都大学大学院農学研究科)
14:05	Current status and future challenges of mitochondrial genome editing in cytoplasmic male sterile rice 風間 智彦 (九州大・院・農)		
14:20	「コムギに細胞質雄性不稔をもたらすミトコンドリア遺伝子の探索」	「スルフォラファン前駆体を高含有するラファノブラシカの育成」 Breeding of <i>Raphanobrassicca</i> containing high levels of sulforaphane precursor. 遠藤 亮太 (カゴメ株式会社・イノベーション本部)	総合討論
14:35	Search for mitochondrial genes responsible for cytoplasmic male sterility in wheat. 辻村 真衣 (龍谷大・農)		
14:40	「オルガネラゲノム編集—文字置換技術, 最新情報と実際と」	「種苗会社と育種学会の距離を, より縮めるポイントは何か?」 Bridging the Gap between Seed Companies and the JSB: Key Points to Foster Closer Collaboration 近藤 友宏 (株) 日本農林社	総合討論
14:50	Base editing in plant organellar genomes 中里 一星, 有村 慎一 (東京大・院・農生命)		
15:00	「植物オルガネラRNA編集酵素の機能とその応用の可能性」	総合討論	総合討論
15:05	Functional of the plant organelle RNA editing enzymes and its potential applications 竹中 瑞樹 (京大・院・理)		
15:15			
15:20	総合討論		
15:30			

# ワークショッププログラム

1 日目 (9月16日) 午後

	第2会場 LR401	第3会場 LR301	第6会場 LR201
	<p><b>W01</b></p> <p>DAC農業の実現にむけた作物改良と評価</p> <p>Crop Improvement and evaluation towards the realization of DAC agriculture</p> <p>企画者：矢野 昌裕, 米丸 淳一 (農研機構・農業情報研究センター)</p>	<p><b>W03</b></p> <p>“病原菌”と“宿主”, “植物病理学”と“育種学”, 相互作用が生み出す新しい抵抗性育種</p> <p>“Pathogen” and “Host”, “Plant pathology” and “Breeding science”, new resistance breeding created by interaction</p> <p>企画者:清水 元樹1, 松尾 宏樹2(1.岩手生物工学研究センター, 2.京都大院・農学研究科)</p>	<p><b>W06</b></p> <p>コロナ・ポストコロナ期の海外留学・在外研究最新事情</p> <p>Research abroad during mid- and post-COVID-19 periods</p> <p>企画者:角井 宏行(東京大・院農学生命科学), 南川 舞(千葉大・国際高等研究基幹), 岡田 萌子(新潟大・院自然科学), 佐久間 俊(鳥取大・農学)</p>
15:45	「炭素超循環社会構築のためのDAC農業の実現にむけて」 Toward a realization of DAC Agriculture for the establishment of a carbon circulating society	「はじめに—このワークショップのねらい」 Introduction 清水 元樹 (岩手生物工学研究センター)	「はじめに」 Introduction 角井 宏行 (東京大・院農学生命科学)
15:50	矢野 昌裕 (農研機構・農業情報研究センター)	「エフェクターに基づくウリ類炭疽病菌の宿主特異性成立の分子機構研究とその応用展開」 Studies on molecular mechanism of effector-mediated establishment of host specificity in <i>Colletotrichum orbiculare</i> and their application development	「コロナ渦中, ポストコロナでのチューリッヒ留学」 Studying in Zurich mid- and post-Covid pandemic 岡田 萌子 (新潟大・院自然科学)
16:00	「バイオマス作物研究: これまでとこれから」 Biomass crop research: past and future 佐塚 隆志 (名古屋大・生物機能開発利用研究センター)	高野 義孝 (京都大院・農学研究科)	
16:10			「フランスINRAeでのスケールの異なるリモートセンシングデータの融合に関する研究」 Fusion of remote sensing data acquired in different scale at INRAe (French national research institute) 岡田 眞銀 (東京大・院農学生命科学)
16:15		「耐病性育種に向けたNLR免疫受容体ネットワークの包括的な理解」 Unraveling NLR immune receptor networks for conferring disease resistance in crop breeding. 安達 広明 (京都大院・農学研究科, JST・さきがけ)	
16:20	「DAC作物開発に向けたイネバイオマス増大の試み—シンク容量の改変—」 Development of DAC crops for biomass increase -Improvement of sink capacity- 小松 晃 (農研機構・生物機能利用研究部門)		
16:30			「UCDavis Genome Center 留学体験記」 Study abroad at UCDavis Genome Center 増田 佳苗 (東京大・院農学生命科学 / UCDavis Genome Center)
16:40	「DAC作物に向けたイネバイオマスの増大の試みと展望—ソース能の改変—」 Establishment of DAC crops for biomass increase 木下 俊則 (名古屋大・ItbM)	「コムギいもち病研究の最先端—40年前に地球上に出現した新規病原菌に対する抵抗性遺伝子はどこにあるのだろうか—」 Recent advances in wheat blast research - Where are genes for resistance to the wheat blast fungus which arose 40 years ago? 土佐 幸雄 (神戸大・院・農学)	
16:50			「中国山東省での定年後の研究生活」 Research life in Shandong China after the age retirement 小松田 隆夫 (山東省農業科学院)
17:00	「DAC農業へ向けたバイオマス生産・利用の環境負荷評価 (LCA)」 Environmental assessment (LCA) of biomass production and utilization toward DAC agriculture 吉川 直樹 (滋賀県立大学)	「イネ-いもち病菌分子間相互作用の解析」 Molecular interactions between rice and <i>Magnaporthe oryzae</i> 寺内 良平 (京都大院・農学研究科, 岩手生物工学研究センター)	
17:05			
17:20	総合討論	「抵抗性遺伝子の新たな可能性」 New potential of Resistance genes 清水 元樹 (岩手生物工学研究センター)	総合討論
17:35		総合討論	
17:45			

ポスター発表プログラム (9月17日)  
奇数番号 9:00-10:00 偶数番号 10:00-11:00 (神戸大学 百年記念館)

01. 育種法・育種技術 (Breeding method・Breeding technology)

- P001 SHAPを用いたQTLおよびエピスタティックQTLマッピングについての検証  
☆石橋 朋大, 小野木 章雄 (龍谷大学農)
- P002 チカラシバ属種間雑種の作出に向けた迅速栽培法の確立  
☆寺田 晃盛<sup>1</sup>, 石井 孝佳<sup>2</sup>, 佐久間 俊<sup>3</sup> (1. 鳥取大・持続性社会創生科学研究科, 2. 鳥取大・乾燥地研究センター, 3. 鳥取大・農学部)
- P003 独自のプラスミドセットと簡便高密度水耕栽培法を組み合わせた多重ゲノム編集イネの育成と解析  
○黒田 昌治, 及川 鉄男 (農研機構・生物研)
- P004 アブラナ科植物の接ぎ木技術における穂木伸長のためのジベレリン処理  
☆原 蒔士, 西川 みなみ, 瀬川 天太, 熊澤 利輝, 齋賀 空知, 吉住 允秀, 高木 宏樹 (石川県立大学)
- P005 日米交雑に由来するダイズ多収系統を用いた群落内相対照度と収量性の関係  
○山田 哲也<sup>1</sup>, 小野木 章雄<sup>2</sup>, 平田 香里<sup>1</sup>, 菱沼 亜衣<sup>3</sup>, 高橋 浩司<sup>1</sup>, 南條 洋平<sup>1</sup>, 米丸 淳一<sup>4</sup> (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 龍谷大学・農学部, 3. 農研機構・東北農業研究センター, 4. 農研機構・農業情報研究センター)
- P006 非線形成長モデルに基づくUAVリモートセンシングデータと手計測データの融合  
☆福本 勇太<sup>1</sup>, 陳 泰伸<sup>2,8</sup>, 戸田 悠介<sup>2</sup>, 大森 良弘<sup>2</sup>, 山崎 裕司<sup>3</sup>, 高橋 宏和<sup>4</sup>, 高梨 秀樹<sup>2</sup>, 津田 麻衣<sup>5</sup>, 平井 優美<sup>6</sup>, 辻本 壽<sup>3</sup>, 加賀 秋人<sup>7</sup>, 中園 幹生<sup>4</sup>, 藤原 徹<sup>2</sup>, 岩田 洋佳<sup>2</sup> (1. 東京大・農, 2. 東大・院農学生命科学, 3. 鳥取大・乾燥地研究センター, 4. 名大・院生命農学, 5. 筑波大・T-PIRC, 6. 理研・環境資源科学研究センター, 7. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 8. 農研機構 野菜花き研究部門)
- P007 人工気象器を利用したイネ多収品種の形質評価環境の構築  
☆和田 楓, 山下 寛人, 米丸 淳一, 伊藤 博紀 (農研機構・作物研究部門)

02. 品種育成・遺伝資源 (Breeding・Genetic Resource)

- P008 果実が大きく多収である生食用イチゴ新品種「オオノ Agri 81 旺 18-166」及び「オオノ Agri 81 旺 18-547」の育成  
○玉置 学, 森野 みほ, 玉置 涼佑, 佐野 颯馬, 橋本 航 (オオノ開発株式会社)
- P009 遠縁交雑によるササゲ遺伝資源 拡大に向けた胚珠培養方法の確立  
☆NGOZI PAULINUS OFEMI, 石井 孝佳<sup>2</sup> (1. 鳥取大・持続性社会創成科学, 2. 鳥取大・乾燥地研究センター)
- P010 温暖地向け豆乳用ダイズ品種「すみさやか」の育成  
○高田 吉丈, 小松 邦彦, 佐山 貴司, 山下 謙一郎, 猿田 正恭 (農研機構・西日本農業研究センター)
- P011 オオハマニンニク染色体添加系統パンコムギにおけるメタボローム解析  
☆小野 輝久<sup>1</sup>, 岸井 正浩<sup>2</sup>, 平井 優美<sup>3</sup>, 辻本 壽<sup>4</sup>, 岡本 昌憲<sup>1,3,5</sup> (1. 宇都宮大, 2. 国際農研, 3. 理研・CSRS, 4. 鳥取大, 5. 横浜市大)
- P012 NBRP トマト変異体リソースが保有する大規模変異体集団の表現型再現性  
○杉本 貢一, 藤森 陽子, 有泉 亨, 江面 浩 (筑波大・T-PIRC)
- P013 田中正武アーカイブズ整備とコムギリソースへの紐付け  
○太田 敦士<sup>1,2</sup>, 新田 みゆき<sup>1,2</sup>, 齋藤 歩<sup>3</sup>, 平澤 美保子<sup>3</sup>, 松岡 由浩<sup>4</sup>, 川浦 香奈子<sup>5</sup>, 大田 正次<sup>6</sup>, 石川 裕子<sup>1</sup>, 吉田 健太郎<sup>1,2</sup>, 那須田 周平<sup>1,2</sup>, 寺内 良平<sup>1,2</sup> (1. 京大院・農学, 2. NBRP コムギ, 3. 京大総合博物館, 4. 神戸大院・農学, 5. 横浜市大・木原生研, 6. 福井県立大・名誉教授)
- P014 重イオンビーム照射によって作出した、パンコムギ品種「福井県大3号 (ふくこむぎ)」の硬質粒変異体におけるピュロインドリノン遺伝子の遺伝子構造解析  
☆笛木 麗奈<sup>1</sup>, 畑下 昌範<sup>2</sup>, 村井 耕二<sup>1</sup> (1. 福井県大・院生物資源, 2. 若狭湾エネルギー研究センター)
- P015 大学連携バイオバックアッププロジェクト (IBBP) による生物遺伝資源の保管事業  
○榎根 一夫, 加藤 愛, 松林 尚美, 都築 千鶴, 浜谷 綾子, 成瀬 清 (基礎生物学研究所 IBBP センター)
- P016 メロンの2変種間交雑に基づく果実形質および性表現のQTL解析  
☆梨木 聡人<sup>1</sup>, 松尾 宏樹<sup>1</sup>, 高野 航太<sup>1</sup>, 磯部 祥子<sup>2</sup>, 白澤 健太<sup>2</sup>, 吉岡 洋輔<sup>3</sup> (1. 筑波大・院理工情報生命, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 筑波大・生命環境系)
- P017 コムギの1穂小穂数を制御するWAO-A1遺伝子と小花の稔性を制御するGNI-A1遺伝子の多型の地理的分布  
☆笠間 瑞希, 高橋 賢多, 田中 溪, 河瀬 眞琴, 西尾 善太 (東京農大・院農)
- P018 硬質パン用小麦品種「ゆめかおり」後継候補系統「東山57号」、「東山62号」の生地物性特性及びタンパク質組成について  
☆中澤 隆盛<sup>1</sup>, 池田 達哉<sup>2</sup>, 前島 秀和<sup>1</sup> (1. 長野県農業試験場, 2. 農研機構・西日本農業研究センター)
- P019 野生イネ (*Oryza rufipogon*) の赤褐色果皮抽出物の抗菌性について  
☆岩本 光夢, 小野田 杏菜, 塩田 モエリ, 石川 亮, 石井 尊生 (神戸大・院農学)



- P020** アワ葉鞘色に関する遺伝解析及び変異型の地理的分布  
 ☆辻 誠也 1, 松山 さらさ 2, 伊藤 和江 3, 及川 香梨 3, 阿部 陽 3, 福永 健二 1 (1. 県広大・院・総合学術研究科, 2. 県広大・生命環境, 3. 岩手生工研)
- P021** 戻し交雑自殖系統群を用いたエンマーコムギの穂と草型の栽培化関連形質の遺伝学的解析  
 ☆森岡 美羽 1, 粕淵 星也 1, 島田 沙織 1, 牛 恒一 1, Cristian Vladutu1, Shahryar Kianian2, 森 直樹 1 (1. 神戸大・院農, 2. USDA-ARS, Univ. Minnesota, U.S.A)
- P022** アフリカ栽培イネ *Oryza glaberrima* の種子脱粒程度に関与する新規遺伝子座の推定  
 ☆山崎 美樹 1, 前田 安紗実 1, Lim Sathya1, 石井 尊生 1, 山形 悦透 2, 小出 陽平 3, 藤田 大輔 4, 石川 亮 1 (1. 神戸大・院・農学, 2. 九大・院・農学, 3. 北大・院・農学, 4. 佐賀大・院・農学)
- P023** 水稻品種「いちほまれ」より糊化開始温度が低い突然変異系統の特性  
 ☆中岡 史裕 1,2, 小林 麻子 1, 渡辺 脩斗 1, 両角 悠作 1, 町田 芳恵 1, 茶谷 弦輝 1, 三浦 孝太郎 3, 山崎 将紀 2 (1. 福井農試, 2. 新潟大, 3. 福井県立大)
- P024** ベニバナ遺伝資源の基本形質調査と赤色素合成遺伝子の変異解析  
 ☆細野 浩平 1, 鈴木 花 2, 木村 葉子 2, 笹沼 恒男 1,2 (1. 山形大・院農, 2. 山形大・農)
- P025** *Oryza longistaminata* 由来第 4 染色体長腕に座乗する収量性関連形質の遺伝解析  
 ○平林 秀介 1, 松原 一樹 1, 福岡 修一 1,2, 竹内 善信 1, 杉本 和彦 1 (1. 農研機構・作物研, 2. 現: 農研機構・基盤技術研究本部)
- 03. ゲノム解析・ゲノム育種 (Genomic analysis・Genome-based breeding)**
- P026** *Brassica napus* における次世代シーケンサーを用いた同祖染色体間の組換え箇所同定  
 ☆熊澤 利輝, 瀬川 天太, 原 蒔士, 齊賀 空知, 吉住 允秀, 高木 宏樹 (石川県立大学)
- P027** ダイズのリファレンスゲノム Williams82 とツルマメのリファレンスゲノム W05 にマッピングした日本ツルマメ系統全ゲノム配列の比較  
 ☆ Eike Yudi Nishimura Carmo1, Maria Stefanie Dwiyaniti2 (1. 北海道大学大学院農学院, 2. 北海道大学大学院農学研究院)
- P028** バレイシヨにおける青枯病抵抗性主働 QTL に連鎖する DNA マーカーおよびマルチプレックス PCR 検定技術の開発  
 ○波部 一平, 坂本 悠, 松本 健資 (長崎県農林技術開発センター)
- P029** 未精製 DNA を用いた迅速・簡便な MIG-seq ライブラリー構築法の開発  
 ☆西村 和紗 1, 元木 航 1, 長坂 京香 2, 滝澤 理仁 3, 張 芸瑄 2, 森 崇 2, 中野 龍平 2, 中崎 鉄也 2 (1. 岡山大・院環境生命自然, 2. 京都大・院農学, 3. 龍谷大・農)
- P030** グラフ理論と隠れマルコフモデルによるマーカー遺伝子型データの補完と修正アルゴリズムの開発  
 ○稲森 稔 1, 南川 舞 1,2, 清水 徳朗 3, 國久 美由紀 3, 野中 圭介 3, 森谷 茂樹 3, 阿部 和幸 3, 岩田 洋佳 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 千葉大・国際高等研究基幹, 3. 農研機構・果樹茶業研究部門)
- P031** 複数のイチゴ炭疽病耐病性分離集団を用いたゲノムワイド関連解析と SNP マーカーの検証  
 ○田口 真由 1, 柏谷 祐樹 1, 安野 彩香 1,2, 阿部 朋孝 1,3, 豊田 明奈 1, 重野 貴 1,4, 中澤 佳子 1,5 (1. 栃木県農業試験場, 2. 栃木県芳賀農業振興事務所, 3. とちぎ農産物マーケティング協会, 4. 栃木県経営技術課, 5. 栃木県下都賀農業振興事務所)
- P032** アワとエノコログサの RILs 育成と GRAS-Di 技術を利用した連鎖地図作成  
 ☆渡邊 いぶき 1, 中村 千里 2, 門田 有希 3, 福永 健二 1 (1. 県立広島大学生物資源科学部, 2. 岡山大・農, 3. 岡山大・院環境生命自然)
- P033** 日本のパンコムギコアコレクションの種子根伸長角度の調査と関連遺伝子座の探索  
 ☆中野 悠平 1, 西村 和紗 2, 西嶋 遼 1 (1. 福井県大・生物資源, 2. 岡山大・院環境生命)
- P034** 早播適性の高いわが国の夏ダイズ遺伝資源では早晚性遺伝子 *Tof11* に高頻度で変異型アリルが見られる  
 ○小松 邦彦, 佐山 貴司, 山下 謙一郎, 高田 吉丈 (農研機構・西農研)
- P035** 四倍体コムギ三系統の相互交配に由来する三つの分離集団を用いた収量関連形質に関わる QTL 解析  
 ☆陳 甜甜 1, 西村 和紗 2, 長坂 京香 1, 岩橋 優 1, 村田 和樹 1, 牧 隆宏 1, 木下 有羽 1, 井上 博茂 1, 中野 龍平 1, 中崎 鉄也 1 (1. 京都大・院農学, 2. 岡山大・環境生命自然)
- P036** イチゴにおけるゲノミックセレクションと GWAS を用いた複数果実形質同時選抜の試み  
 ○豊田 明奈 1, 柏谷 祐樹 1, 松島 雄大 1, 安野 彩香 1,2, 稲葉 瑛世 1, 磯部 祥子 3, 白澤 健太 3, 佐藤 光彦 3, 山本 英司 3, 田崎 公久 1, 飯村 一成 1,4, 重野 貴 1,5, 中澤 佳子 1,4 (1. 栃木県農業試験場, 2. 芳賀農業振興事務所, 3. かずさ DNA 研究所, 4. 下都賀農業振興事務所, 5. 栃木県経営技術課)
- P037** テンサイ日本育成系統を用いたゲノムワイド関連解析 (GWAS) による単胚性原因遺伝子の探索  
 ○北崎 一義 1, 廣木 幸太郎 1, 成廣 翼 2, 松平 洋明 2, 久保 友彦 1, 黒田 洋輔 2 (1. 北大院・農, 2. 農研機構・北海道農業研究センター)
- P038** メロンにおける改良 MIG-seq 利用の検討とエチレン合成関連遺伝子座の再評価  
 ○影山 竜一 1, 西村 和紗 1, 中野 龍平 2, 池田 和生 3, 加藤 謙司 1, 久保 康隆 1, 赤木 剛士 1, 牛島 幸一郎 1 (1. 岡山大・院環境生命自然科学, 2. 京都大・院農学, 3. 山形大・農学)
- P039** 全ゲノム多型解析による茶特化代謝関連遺伝子の自然変異探索  
 ☆舟川 奈那 1, 山下 寛人 2,3, 石黒 雄大 1, 川木 純平 4, 一家 崇志 2,3,5 (1. 静大・院農, 2. 静大・農, 3. 静大・ティーサイエンス研, 4. 静岡県・茶研, 5. 静大・グリーン研)

P040 作物種子からロングリードシーケンスに適応可能な高品質 / 収量 DNA 抽出法の開発  
☆塩谷 直弘 1, 小木曾 映里 2, 渡辺 昌規 1, 穴井 豊昭 3, 星野 友紀 1 (1. 山形大院・農, 2. 科博・分生多研セ, 3. 九州大院・農)

P041 異質倍数性植物の RNA-seq 解析におけるアライメントの正確性向上  
☆齊賀 空知, 瀬川 天太, 熊澤 利輝, 原 蒔士, 吉住 允秀, 福岡 小遙, 高木 宏樹 (石川県立大学)

P042 Gene identification and characterization of days to heading in mutant lines of glutinous rice variety "Hiyokumochi" (*Oryza sativa* L.)  
☆ MINN YA1, 穴井 豊昭 2, 鄭 紹輝 1, 藤田 大輔 1 (1. 佐大院・農, 2. 九大院・農)

P043 イネ種間雑種 4 倍体の後代分離集団の GWAS 結果から予測される QTL の dosage 効果とヘテロシス  
岡 大晴 1, 古田 智敬 1, 牟 竝瑞 1, 柏原 亮成 1, 長岐 清孝 1, 貴島 祐治 2, ○山本 敏央 1 (1. 岡山大・院・環境生命・植物研, 2. 北海道大・院・農)

#### 04. オミクス・データベース (Omics・Database)

P044 種間雑種 4 倍体イネとその両親栽培イネにおける遺伝子発現の比較プロファイル  
☆牟 竝瑞 1, 古田 智敬 1, 岡 大晴 1, 長岐 清孝 1, 貴島 祐治 2, 山本 敏央 1 (1. 岡山大・院・環境生命・植物研, 2. 北海道大・院・農)

P045 ソルガム参照ゲノム配列を複数活用したトランスクリプトーム解析による搾汁液高糖性の解明  
☆岡田 聡史 1, 池崎 未来 2, 橋本 舜平 3,4, 菊池 樹 2, 中村 (荒木) 聡子 1, 篠原 (大前) 梢 1, 佐塚 隆志 1 (1. 名大・生物セ, 2. 名大・院 生命農学, 3. 東大院・農学生命科学, 4. 日本学術振興会特別研究員 PD)

#### 05. 遺伝子機能 (Gene function)

P046 リン酸トランスポーターの異所的発現は植物のリン酸吸収・利用効率を改善するか  
○多田 雄一, 野池 優希, 清水 碧 (東京工科大・応用生物)

P047 タイヌビエのカルスの性状と効率的な組織培養系の確立  
○権藤 崇裕 1, 菅原 まなみ 2, 岩上 哲史 3 (1. 宮崎大・フロンティア, 2. 宮崎大・農学研究所, 3. 京大・農学研究所)

P048 ゲノム編集による常緑シバ新規育種素材の開発:NYC1 遺伝子をノックアウトしたコウシュンシバの作出と評価  
☆黄 琬媚 1, 平田 真里菜 2, 権藤 崇裕 3, 明石 良 4 (1. 宮崎大・農工総合研究所, 2. 宮崎大・農学研究所, 3. 宮崎大・フロンティア, 4. 宮崎大)

P049 再分化したゲノム編集バイレシヨの遺伝的特性  
○遠藤 亜矢 1, 安本 周平 2, 佐々木 晴充 3, 五十嵐 俊哉 3, 梅基 直行 4, 村中 俊哉 2, 森 元幸 3, 山田 哲也 1 (1. 北大・院農, 2. 大阪大・院工学, 3. カルビーポテト (株), 4. 理化学研究所・環境資源科学研究センター)

P050 イネにおける複数遺伝子同時ゲノム編集の試み  
○雑賀 啓明 1, 根岸 克弥 1,2, 賀屋 秀隆 1,3, 遠藤 真咲 1, 土岐 精一 1,4,5,6 (1. 農研機構・生物研, 2. 現農研機構・果茶研, 3. 現愛媛大・農, 4. 横浜市立大・院・生命ナノ, 5. 横浜市大・木原生研, 6. 龍谷大・農)

P051 アミノ酸置換型ゲノム編集技術によるイネの新規閉花受粉性変異体の作出に向けて  
☆野坂 亮仁, 黒羽 剛, 木水 真由美, チェチュートカスヴェトラーナ, 吉田 均 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)

P052 易変異性純系タバコの戻し交雑後代 (BC3) に生じた雄性不稔と花器形態異常に関する研究  
☆花本 将伍 1, 寺地 徹 2, 西本 真理 2, 寺田 遥 2 (1. 京産大・院生命科学, 2. 京産大・生命科学)

P053 J-PARC 加速器を用いた中性子線照射イネの M2 世代における全ゲノムリシーケンス解析  
☆小島 健太 1, 石橋 佳奈 2, 菊池 伯夫 2, 高妻 孝光 3, 星川 晃範 4, 久保山 勉 1 (1. 茨大・農, 2. クオンタムフラワーズ & フーズ, 3. 茨大・理, 4. 茨大・フロンティア)

P054 イネの NAM 集団で見出された LTR レトロトランスポソンの転移  
○深井 英吾 1, 阿部 陽 2, 岡崎 桂一 1 (1. 新潟大・農, 2. 公益財団法人岩手生物工学研究センター)

P055 カブ品種「アカマル」由来の光非依存的アントシアニン蓄積に関する遺伝子領域が発現産物およびメチル化におよぼす影響  
☆瀬川 天太, 熊澤 利輝, 原 蒔士, 齊賀 空知, 吉住 允秀, 高木 宏樹 (石川県立大学)

P056 山形県米沢市の弘法ダイコンに見出されたミトコンドリアゲノムのヘテロプラスミー個体に関する研究  
○寺地 徹, 瀧井 瑠李, 山川 杏梨 (京都産大・生命科学)

P057 オルガネラゲノム特異的にランダムな変異を導入する 2 通りの技術の開発  
☆小坂 七海 1, 原田 佳樹 1, 中里 一星 1, 奥野 未来 2, 伊藤 武彦 3, 矢守 航 1, 堤 伸浩 1, 有村 慎一 1 (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 久留米大医, 3. 東京工業大・院生命理工)

#### 06. 抵抗性・耐性 (Resistance・Tolerance)

P058 イオンビーム照射によって誘発されたイネ白葉枯病新規抵抗性系統の特性と白葉枯病菌複数レースに対する反応  
☆高橋 龍成 1, 加藤 神成流 1, 前田 幸暉浩 1, 柴田 雪花 1, 湯山 祐樹 2, 田浦 悟 3, 一谷 勝之 4 (1. 鹿大・院農林水産学, 2. 鹿児島農総セ徳之島, 3. 鹿大・遺伝子実験施設, 4. 鹿大・農学)

- P059 イネ突然変異白葉枯病抵抗性遺伝子が農業形質に及ぼす影響  
☆前田 幸暉浩 1, 高橋 龍成 1, 柴田 雪花 1, 田浦 悟 2, 一谷 勝之 3 (1. 鹿大・院農林水産学, 2. 鹿大・遺伝子実験施設, 3. 鹿大・農学)
- P060 ビワ果実における灰斑病菌 (*Neopestalotiopsis* 属菌) 抵抗性検定法の開発  
○稗圃 直史 1, 坂口 龍之介 1,2, 小嶺 正敬 1 (1. 長崎農技開セ果樹・茶, 2. 現 長崎県県央振興局)
- P061 ホウレンソウから見出されたキュウリモザイクウイルス抵抗性に関する遺伝学的特徴づけおよびラフマッピング  
☆ Yue Wu 1, 平川 英樹 2, 増田 税 3, 小野寺 康之 3 (1. 北海道大学大学院農学院, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 北海道大学大学院農学研究院)
- P062 コマツナにおける白さび病菌感染による転写応答の系統間比較  
アクタ アルジーナ 1, 宮路 直実 2, 清水 元樹 2, 中馬 いづみ 3, ○藤本 龍 1 (1. 神戸大・院農学, 2. 岩手生工研セ, 3. 帯広畜産大・人間科学)
- P063 アワイもち病抵抗性遺伝子の同定  
☆伊藤 和江 1, 菅 広和 2, 吉津 祐貴 2, 阿部 陽 1, 大里 達朗 2, 寺内 良平 1, 清水 元樹 1 (1. 岩手生工研, 2. 岩手農研)
- P064 イネもみ枯細菌病抵抗性遺伝子 (*RBG1*) は ABA を負に制御し苗腐敗抵抗性に寄与する  
○溝淵 律子 1, 杉本 和彦 1, 對馬 誠也 2, 福岡 修一 3, 對木 千加子 1, 遠藤 真咲 4, 三上 雅史 4, 雑賀 啓明 4, 佐藤 宏之 1 (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 農研機構・企画戦略本部, 3. 農研機構・基盤技術研究本部, 4. 農研機構・生物機能利用研究部門)
- P065 イネもみ枯細菌病の発病に対する閉花受粉性の効果  
○大森 伸之介 1, 中島 宏和 2, 酒井 和彦 3, 小巻 康平 3, 佐波 雅史 1, 溝淵 律子 1 (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 長野農試, 3. 埼玉農技研)
- P066 パンコムギにおけるアクアポリンの同定と塩および浸透圧ストレス応答のトランスクリプトーム解析  
☆森谷 光, Mohammad Taheb Safi, Waisuddin Ahmadzai, 中山 理央, 神谷 容子, 川浦 香奈子 (横浜市大・木原生研)
- P067 合成六倍体コムギの塩ストレス応答遺伝子の比較  
☆横田 彩乃, 森谷 光, 渡辺 のみ果, 神谷 容子, 川浦 香奈子 (横浜市大・木原生研)
- P068 シロイヌナズナの熱ストレス応答性長距離シグナルの MBF1c 依存性制御機構  
☆森實 郁太, 鈴木 伸洋 (上智大学大学院・理工学研究科)
- P069 ドローン空撮による画像解析を利用したコムギの湿害耐性評価  
☆柿塚 裕理, 内川 修, 尾上 明日香, 甲斐 浩臣 (福岡県農林業総合試験場)
- P070 生育初期の圃場湛水処理によるコムギ湿害耐性の評価  
☆尾上 明日香, 甲斐 浩臣, 柿塚 裕理, 内川 修 (福岡県農林業総合試験場)
- P071 Exploration of wild emmer wheat intraspecific heat stress tolerance variation in a background of durum wheat  
☆ Mohammed Yousif Balla 1,2, Nasrein Mohamed Kamal 1,2, Yasir Serag Alnor Gorafi 1,2, Modather Galal Abdeldaim Abdalla 2, Izzat Sidahmed Ali Tahir 1,2, Hisashi Tsujimoto 1 (1. Arid Land Research Center, Tottori Univ., 2. Agricultural Research Corporation, Sudan)
- P072 塩ストレス下のイネの葉身への Na<sup>+</sup> 蓄積制御に関わる量的形質遺伝子座 *Na-QTL1* の解析  
☆石井 優稀 1, 石川 亮 2, 松村 英生 3, Priya Yaddhige 4, 石井 尊生 2, 堀江 智明 1 (1. 信州大・院応用生物, 2. 神戸大・院農, 3. 信州大・遺伝子実験支援部門, 4. GLORDC, Sri Lanka)
- P073 コムギ TILLING 集団からの節水型耐乾性系統の選抜および生理学的解析  
☆平田 駿一郎 1, 横山 聡太郎 2, 辻本 壽 3, 妻鹿 良亮 1 (1. 山口大・院・創成科学, 2. 岡山大・院・環境生命, 3. 鳥取大・乾燥地研)
- P074 カンゾウの耐暑性系統作出に向けた突然変異育種の条件検討  
☆朝倉 尚也 1, 笹倉 温基 2, 増田 優 1, 松田 靖 1 (1. 東海大学大学院農学研究科, 2. 東海大学農学部)
- P075 マルチオミクス解析による水稲「日本晴」の干ばつ応答機構の解明  
☆相馬 史幸 1, 木富 悠花 1, 川勝 泰二 2, 宇賀 優作 1 (1. 農研機構・作物研, 2. 農研機構・生物研)

## 07. 収量・品質 (Yield・Quality)

- P076 イネ染色体部分置換系統 (TD-CSSLs) 利用による登熟関連形質の評価  
☆ Abebaw MABREJA, Vincent Reyes, 西内 俊作, 土井 一行 (名大院・生命農学)
- P077 薬用植物ウラルカンゾウにおける薬効成分含有量の遺伝性評価  
☆津坂 宜宏, 青木 陽一, 櫻井 美希 (株式会社ツムラ)
- P078 イネを用いた家畜疾病治療用抗菌ペプチド *persulcatusin* および CCL28 の生産  
藤田 岳, 渡会 岳, 下田 蒼, 小関 美里, 岩井 裕子, 米山 裕, ○伊藤 幸博 (東北大・農)
- P079 薬用植物シナマオウのエフェドリンアルカロイドに関するゲノムワイド関連解析  
☆樋山 肇 1, 白澤 健太 2, 磯部 祥子 2 (1. 株式会社ツムラ, 2. かずさ DNA 研)
- P080 イネ雑種の初期生育において *18S rDNA* の 5' 領域に見られたメチル化レベルの上昇  
☆大槻 日向子 1, 高間 梨央 2, 仲村 洋輔 1, 一谷 勝之 3, 久保山 勉 1 (1. 茨大・農, 2. 農研機構・植物防疫研究部門, 3. 鹿大・農)



**P081 スベルトコムギから同定された Rht8 領域の半矮性遺伝子**  
☆島田 翔太<sup>1</sup>, 阿部 竜也<sup>1</sup>, 高西 若菜<sup>1</sup>, 中馬 いづみ<sup>1</sup>, 蝶野 真喜子<sup>2</sup>, 八田 浩一<sup>2</sup>, 大西 一光<sup>1</sup> (1. 帯広畜産大学, 2. 農研機構・作物研)

**P082 6 倍性コムギにおける出穂性に関する FT-B1 領域の複対立遺伝子変異**  
☆Lesly Diaz Suarez<sup>1</sup>, 稲垣 初音<sup>1</sup>, 加藤 鎌司<sup>2</sup>, 大西 一光<sup>1</sup> (1. 帯畜大, 2. 岡山大・院環境生命自然)

## 08. 発生・生理 (Development・Physiology)

**P083 コムギにおけるオーキシン生合成阻害剤が種子根に与える影響と系統間差**  
☆小澤 圭佑, 神谷 容子, 川浦 香奈子 (横浜市大・木原生研)

**P084 トレニア新規フリル変異体に対するサイトカイニン分解阻害剤 (CPPU) 処理の影響**  
☆黛 隆宏<sup>1</sup>, 畑下 昌範<sup>2</sup>, 高城 啓一<sup>2</sup>, 阿部 知子<sup>3</sup>, 風間 裕介<sup>1,3</sup> (1. 福井県立大学大学院生物資源, 2. 若エネ研・生物資源, 3. 理研・仁科センター)

**P085 オオムギにおける物理的な刺激による種子休眠の覚醒と植物ホルモンの発生消長**  
○甲斐 浩臣<sup>1</sup>, 尾上 明日香<sup>1</sup>, 松浦 恭和<sup>2</sup>, 最相 大輔<sup>2</sup>, 田中 剛<sup>3</sup>, 原口 雄飛<sup>1</sup>, 轟 貴智<sup>4</sup>, 安彦 友美<sup>5</sup> (1. 福岡県農林業総合試験場, 2. 岡大・植物研, 3. 農研機構・分析研, 4. 福岡県久留米普及指導センター, 5. 九大・農)

**P086 オオムギ花序メリステムの細胞死過程における核内構造変化**  
☆松本 大輝<sup>1</sup>, 井藤 純<sup>1</sup>, 野村 有子<sup>1</sup>, 若崎 真由美<sup>2</sup>, 佐藤 繭子<sup>3</sup>, 武田 (神谷) 紀子<sup>2</sup>, 最相 大輔<sup>3</sup>, 豊岡 公徳<sup>2</sup>, 辻 寛之<sup>1,4</sup> (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 理研・環境資源科学研究センター, 3. 岡山大学資源植物科学研究所, 4. 名古屋大・生物機能開発利用研究センター)

**P087 デュラムコムギにおける出穂期関連遺伝子の発現解析による相互作用メカニズムの解析**  
☆藤岡 明雅<sup>1</sup>, 門田 有希<sup>2</sup>, 西村 和紗<sup>2</sup>, 西田 英隆<sup>2</sup>, 加藤 鎌司<sup>2</sup> (1. 岡山大・院環境生命, 2. 岡山大・院環境生命自然)

**P088 オオムギ出穂期突然変異体のエキソーム解析による原因遺伝子の探索及び遺伝解析**  
☆大熊 眞歩<sup>1</sup>, 西村 和紗<sup>2</sup>, 門田 有希<sup>2</sup>, 加藤 鎌司<sup>2</sup>, 西田 英隆<sup>2</sup> (1. 岡山大・院環境生命, 2. 岡山大・院環境生命自然)

**P089 イネコムギの砂地圃場における形質調査**  
☆杉浦 李果<sup>1</sup>, 中尾 里菜<sup>1</sup>, 樽谷 英賢<sup>2</sup>, マリエンティ テティ<sup>3,4</sup>, 劉 佳啓<sup>5</sup>, 岡本 龍史<sup>3</sup>, 木村 玲二<sup>5</sup>, 石井 孝佳<sup>5</sup> (1. 鳥取大学・農学, 2. 鳥取大・院持続性社会, 3. 東京都立大・院理学, 4. インドネシア大・数学・自然科学, 5. 鳥取大・乾燥地研究センター)

**P090 コムギにおける種子根伸長性に関する新規 QTL**  
☆真中 千明<sup>1</sup>, 井下 空馬<sup>1</sup>, 八田 浩一<sup>2</sup>, 石川 吾郎<sup>2</sup>, 大西 一光<sup>1</sup> (1. 帯広畜産大学, 2. 農研機構・作物研究部門)

## 09. 増殖・生殖 (Multiplication・Reproduction)

**P091 フツソバ戻し交雑自殖系統からの遺伝育種学的実験に適した個体の選抜**  
☆根本 花奈美<sup>1</sup>, 石川 詩絵里<sup>1</sup>, 上田 旺司<sup>1</sup>, 伊藤 翔太<sup>1</sup>, 石川 剛毅<sup>1</sup>, 丸山 遥<sup>1</sup>, 秋山 彩香<sup>1</sup>, 船木 武人<sup>2</sup>, 中村 晴彦<sup>2</sup>, 海津 朋之<sup>2</sup>, 中野 絢菜<sup>1</sup>, 相井 城太郎<sup>1</sup> (1. 新潟薬科大学・応生科, 2. 新潟市・農業活性化研究センター)

**P092 細胞質雄性不稔性ジャガイモ品種の稔性回復に向けた研究**  
☆中嶋 梨花<sup>1</sup>, 桑原 康介<sup>1</sup>, 有泉 亨<sup>2</sup>, 有村 慎一<sup>3</sup>, 白澤 健太<sup>4</sup> (1. 筑波大・院生命地球科学, 2. 筑波大・生命環境, 3. 東大・院農生命, 4. かずさ DNA 研究所)

**P093 細胞質雄性不稔トマトに対する稔性回復系統の組織学的評価**  
☆眞下 星来<sup>1</sup>, 白澤 健太<sup>2</sup>, 武井 瞳<sup>4</sup>, 原田 竜成<sup>4</sup>, 壹岐 友里恵<sup>4</sup>, 桑原 康介<sup>1</sup>, 鈴木 秀之<sup>3</sup>, 飯岡 真司<sup>3</sup>, 有泉 亨<sup>4</sup> (1. 筑波大学・院理工情報生命, 2. かずさ DNA 研究所, 3. トキタ種苗, 4. 筑波大学・院生命環境科学)

**P094 形態観察とトランスクリプトーム解析による Tadukan 型細胞質雄性不稔性の分子機構考察**  
☆高塚 歩<sup>1</sup>, 風間 智彦<sup>2</sup>, 鳥山 欽哉<sup>1</sup> (1. 東北大・院・農, 2. 九州大・院・農)

**P095 テンサイ稔性回復遺伝子 *Rf1* が正常細胞質系統の花粉発達および雄性稔性に与える影響**  
☆土屋 玲奈<sup>1</sup>, 松平 洋明<sup>2</sup>, 黒田 洋輔<sup>2</sup>, 北崎 一義<sup>3</sup>, 久保 友彦<sup>3</sup> (1. 北海道大学大学院農学院, 2. 農研機構・北海道農業研究センター, 3. 北海道大学大学院農学研究院)

**P096 シロイヌナズナ種内雑種に見出された雑種弱勢の克服現象**  
☆長島 華世<sup>1</sup>, 中田 康貴<sup>2</sup>, 金勝 一樹<sup>2</sup>, 山田 哲也<sup>2</sup> (1. 農工大・院農, 2. 農工大・院連農)

**P097 重イオンビーム照射による自殖性フツソバ突然変異集団の作出**  
☆石川 詩絵里<sup>1</sup>, 根本 花奈美<sup>1</sup>, 川上 空里子<sup>1</sup>, 森田 竜平<sup>2</sup>, 阿部 知子<sup>2</sup>, 中野 絢菜<sup>1</sup>, 相井 城太郎<sup>1</sup> (1. 新潟薬科大学・応生科, 2. 理研・仁科センター)



## 口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はプロジェクターによるプレゼンテーションのみです。発表にはご自分のパソコンをご使用ください。発表者は事前に試写室で会場で試写を行い、スライドのレイアウトや動作をご確認いただくとともに、パソコンの画面出力先の設定（ミラーリング）方法を必ずご確認ください。

また、パソコンの不具合に備えて大会運営委員会では予備のパソコン1台をご用意しますので、**データのバックアップを入れた USB メモリを必ずご準備ください。**

1. 使用するノートパソコンの「画面の解像度」を XGA (1024×768 ピクセル) に設定してからスライドのレイアウトを確認してください。これよりも大きい画面サイズやワイド画面のパソコンを使用すると、プロジェクターから正しく投影されないことがあります。
2. 画面出力端子の形状が D-sub15 ピン（ミニ）もしくは HDMI (type-A) であることを確認してください。この形状と異なる場合や、Mac をご使用になる場合は、変換アダプタを準備してください。
3. スクリーンセーバー、省電力設定は解除し、起動音をミュート（消音）にしてください。
4. バッテリートラブルが生じないように電源タップを用意しますので、パソコンの電源コードを準備してください。
5. 次講演者席、次々講演者席に着席したら、電源コード、モニターケーブルを順に接続し、パソコンを起動してください。
6. 発表者の画面がプロジェクターから投影されない場合、発表者はミラーリングの変更を行ってください。なお、トラブルの時間も講演時間に含まれますのでご了承ください。
7. 動画はミラーリングによってプロジェクターから投影されないことがありますので、発表者は試写の際にミラーリング方法をご確認ください。

その他、ご不明の点は大会運営委員会（jsb144-secretariat@nacos.com）にお問い合わせください。

## ポスター発表方法

ポスター発表される方、ポスター発表をご覧になる方は確認の上、発表に臨まれますようお願い申し上げます。

### <ポスター発表>

掲示 9月16日(土) 8:30~17:00, および17日(日) 8:00~9:00

発表 9月17日(日) 9:00~11:00 奇数番号 9:00~10:00

偶数番号 10:00~11:00

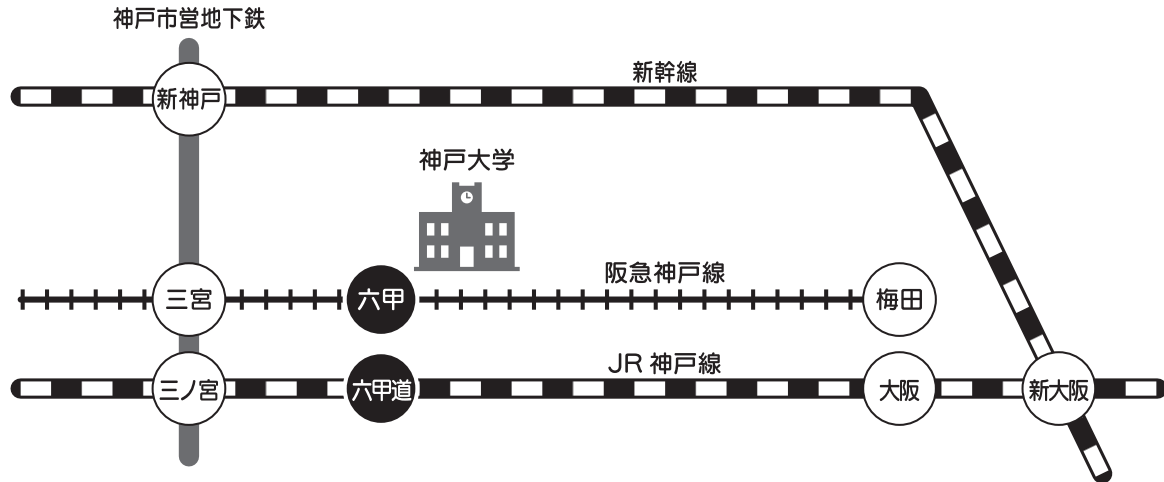
取り外し 9月17日(日) 12:00までに

※ポスターは9月16日から掲示可能です。遅くとも17日(発表日)の朝9時00分までに掲示してください。偶数番号のポスターであっても9時00分までに掲示されていない場合、発表を取り消しとさせていただきます。

※ポスター掲示に必要なピンは会場に用意しております。

※取り外し時間を過ぎても掲示されているポスターは、大会期間中は本部で保管し、その後処分します。

## 講演会場（神戸大学六甲台キャンパス）へのアクセス



神戸大学 六甲台キャンパスの最寄り駅は、JR「六甲道駅」または阪急「六甲駅」になります

### ◎ 大阪から

JR「大阪駅」または JR「新大阪駅」→ JR 神戸線（快速で約 25-30 分）→ JR「六甲道駅」

阪急「大阪梅田駅」→ 神戸線（「西宮北口駅」まで特急で約 15 分、普通に乗り換え約 15 分）→ 阪急「六甲駅」

### ◎ 三宮から

JR「三ノ宮駅」→ JR 神戸線（快速で約 5 分）→ JR「六甲道駅」

阪急「神戸三宮駅」→ 神戸線（普通で約 8 分）→ 阪急「六甲駅」

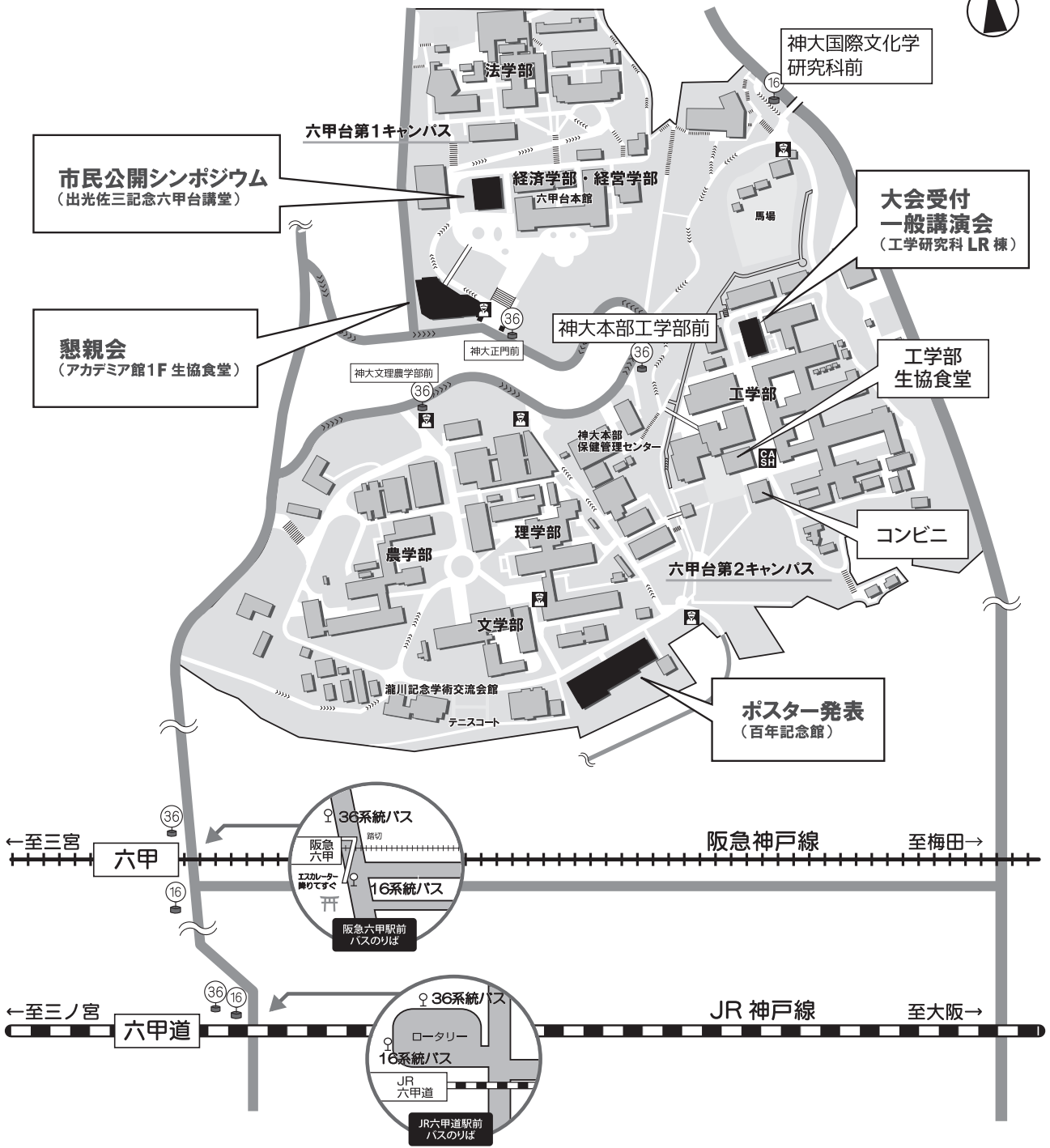
### ◎ JR「新神戸駅」から

神戸市営地下鉄「新神戸駅」→（約 3 分）→「三宮駅」 三宮からは上記経路で

### ◎ 神戸空港から

神戸新交通「神戸空港駅」→（約 20 分）→「三宮駅」 三宮からは上記経路で

講演会場案内図（神戸大学六甲台キャンパス）



JR「六甲道駅」および阪急「六甲駅」から六甲台キャンパスの会場へは下記2経路があります

◎神戸市バス「JR 六甲道」または「阪急六甲」から、16系統「六甲ケーブル下」行き乗車、「神大国際文化学 研究科前」下車（約15分）

◎神戸市バス「JR 六甲道」または「阪急六甲」から、36系統「鶴甲団地」行き乗車、「神大本部工学部前」下車（約15分）

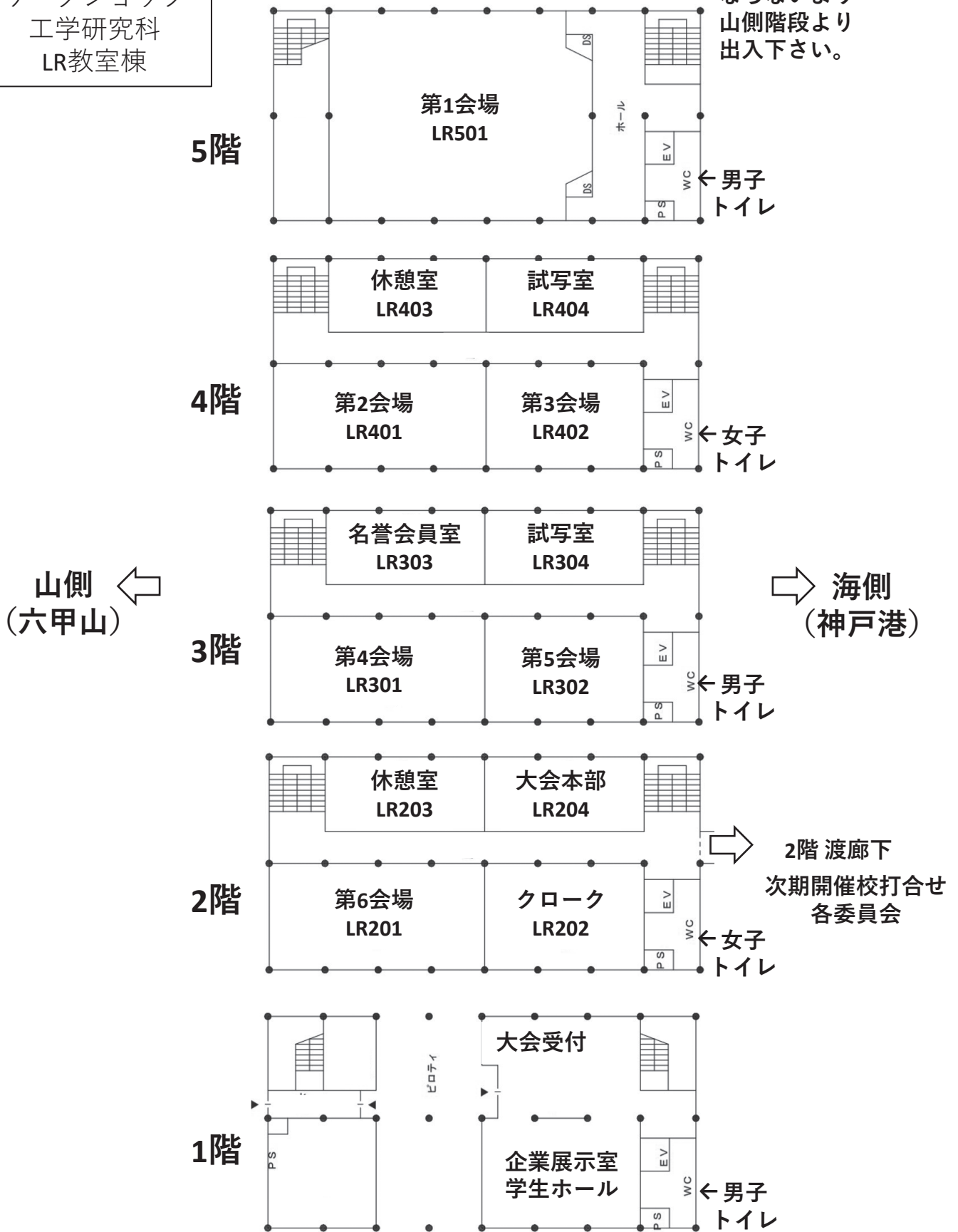
工学部生協食堂は営業されませんが、弁当を販売する予定です



一般公演  
シンポジウム  
ワークショップ  
工学研究科  
LR教室棟

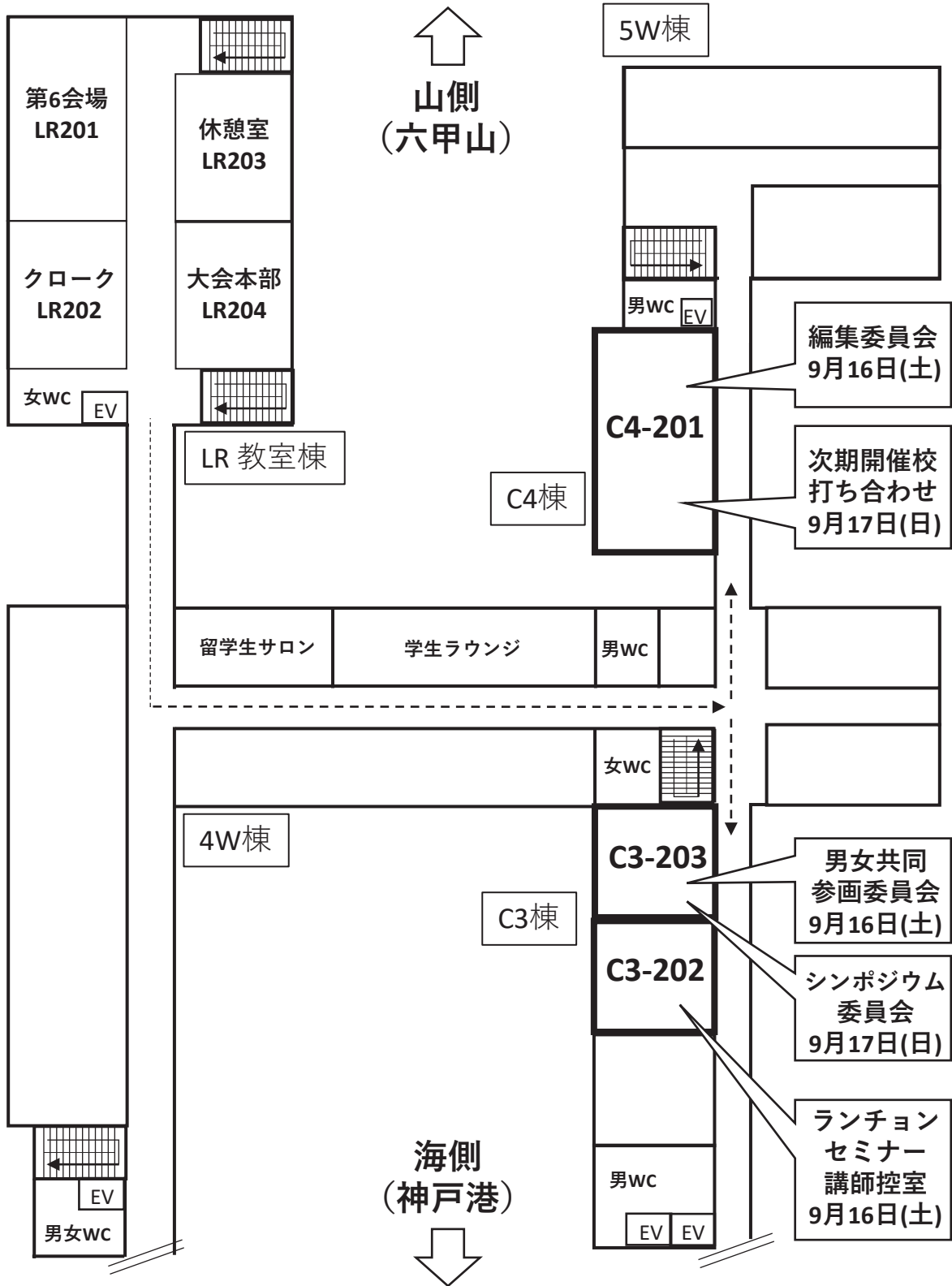
講演会場案内図

第1会場へは  
講演の妨げに  
ならないよう  
山側階段より  
出入下さい。



各種委員会  
工学研究科 C4・C3棟  
(2階渡廊下より)

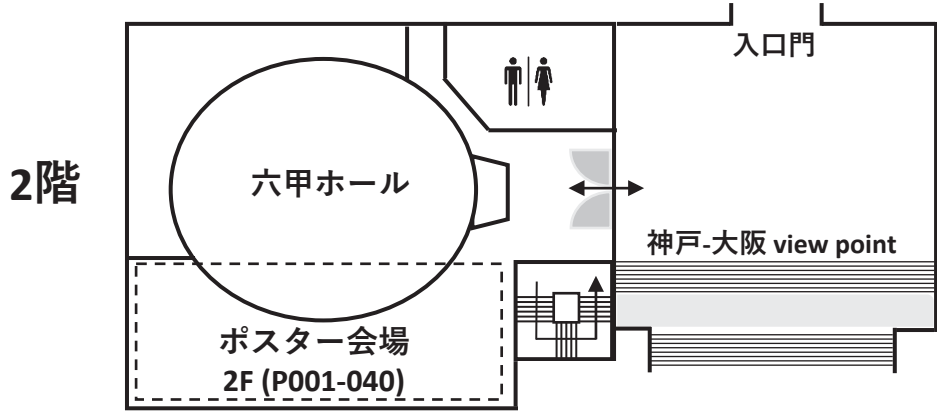
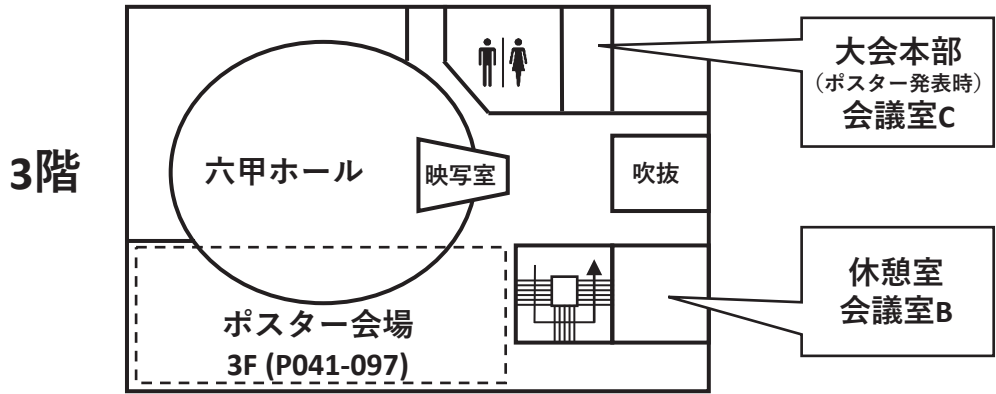
講演会場案内図



講演会場案内図

ポスター会場  
神戸大学  
百年記念館  
(神大会館)

↑  
山側  
(六甲山)



海側  
(神戸港)  
↓